

国立大学法人

# 群馬大学

GUNMA UNIVERSITY

新しい自分がある





# 群羊を抜け 駆ける 世界を

— GUNMA UNIVERSITY CAMPUS GUIDE 2022 —



## 「群羊を抜け 駆ける 世界を」とは？

群馬大学で思いきり学び、経験し、地域から世界に飛び出して欲しいという、学生への想いを込めたキャッチコピーで、2018年から発信しています。何かを気にすることなく自ら決めた道で目指す学問を追い、どこまでも伸び、どんどん抜き込んで良い。疾走する馬のような勢いと真っ直ぐさを持って、地域から世界を駆け回る人材を育てたいというイメージです。

## CONTENTS



- 02 特集1 石崎新学長に在学生在がインタビュー
- 06 特集2 群馬大学を知ろう【授業と研究紹介】
- 08 特集3 すべての学生にデータサイエンス教育を!
- 09 特集4 新型コロナウイルス感染症に伴う学生支援の取り組み
- 10 — 荒牧キャンパス キャンパス情報
- 12 共同教育学部
- 14 共同教育学部在在生・先輩 interview
- 16 情報学部
- 18 在在生・先輩 interview
- 20 荒牧キャンパス施設情報 大学会館／国際センター／次世代モビリティ社会実装研究センター(CRANTS)
- 22 総合情報メディアセンター(図書館)／数理データ科学教育研究センター／食健康科学教育研究センター
- 24 — 昭和キャンパス キャンパス情報
- 26 医学部医学科
- 28 医学部保健学科
- 30 医学部在在生・先輩 interview
- 32 昭和キャンパス施設情報 生体調節研究所／医学部附属病院／重粒子線医学センター
- 34 — 桐生・太田キャンパス キャンパス情報
- 36 理工学部
- 38 理工学部在在生・先輩 interview
- 40 GFL(グローバルフロンティアリーダー 育成プログラム)
- 42 海外留学 海外研修プログラム／協定校情報
- 43 学生サポート 学生支援センター／健康支援総合センター／障害学生サポートルーム／学生寮／キャリアサポート室
- 45 入試日程
- 46 サークルetc. 代表インタビュー
- 48 学生広報大使の取り組み OPEN CAMPUS
- 49 群馬の基本情報／アクセス／沿革

## GUNMA UNIVERSITY WEB SITE

▶▶ 群馬大学公式 HP <https://www.gunma-u.ac.jp/>



▶▶ 受験生応援サイト <https://www.gunma-u.ac.jp/prospective/>



## || CHECK! ||

## 『お前はまだグンマを知らない』とは？

漫画家・井田ヒロト氏による作品で、『月刊コミック@バンチ』（新潮社）のウェブコミック配信サイト『くらげバンチ』にて2013年10月から2019年5月まで配信。2017年に間宮祥太郎の主演でドラマ化および映画化、2018年にはテレビアニメ化され、スマートフォンアプリのゲーム「お前はまだグンマを知らない名産品編」もリリースされた。略称は「おまグン」。群馬大学では2018年から「お前はまだグンマを知らない」としてコラボを開始し、YouTubeのCM動画などで大学のPRを行っている。





# 石崎新学長に在学生在がインタビュー



「自分が一番何をしたいか」ですべてを決めてきました

理工学部 化学・生物化学科 3年

新学長 医学博士

## 小島 優樹 × 石崎 泰樹

Kojima Yuki

Ishizaki Yasuki

### データサイエンスのスキルをすべての学生に

**小島**：はじめに、新学長に就任する上で、群馬大学をどのような大学にしていきたいとお考えでしょうか？

**石崎**：群馬県の産業を活性化し、雇用を生み出すこと、そして文化を発展させることを通して地域社会を元気にする大学にしていきたいと思っています。さらに、グローバルな視点で活躍できる大学も目指します。

**小島**：つまり、群馬県で働いて欲しいということだと思うのですが、実は僕自身群馬で働くことをあまり意識したことがないのですが…。

**石崎**：それはどうしてですか？

**小島**：地元なので群馬は好きです。でも魅力的な群馬の企業をあまり知りません。企業側からもっとアピールがあればよいかもしれませんが今は群馬から出たいと考えています。

**石崎**：今の時代、東京に出るのに不安

は無いですか。

**小島**：自分は化学メーカーなどで開発や研究の仕事をしたと思っています。必ずしも都会志向ではないんです。地方にも魅力的な企業はたくさんあると思います。

**石崎**：群馬にも魅力ある企業はたくさんあると思うので、そういった企業と学生との交流の場がもっとあればいいですよ。

**小島**：グローバルな視点で活躍できる大学というお話でしたが、大学として教育や支援をどのようにしていけると思っていますか？

**石崎**：そうですね、大学全体としては2021年度に情報学部を新設しました。これはユニークな試みだと思っています、世界でもリーダーになれる人材が育成できるのではないかと期待しています。

**小島**：システム教育、数学や情報の分

野は大事ななだと思いますが、専門外の人からすると、データサイエンスなどは難しくハードルが高いですよね。専門外の人にも教育を、というようなものなのではないでしょうか。

**石崎**：そうですね。まずどの学部に入っても将来のためにはデータサイエンスが大事で、私の研究領域でも膨大なデータをどう解釈していいか、私自身は古いタイプなのでよく分からない。それを分かるようなスキルが必要ですよね。そのスキルをすべての学生に対して提供していこうと考えています。

**小島**：僕も個人的に機械学習を少し勉強しているのですが、やはり独学だと難しいですよね。そういう機会があるとありがたいですね。

### 落語家志望から医学の道へ

**小島**：石崎先生はどのような大学生でしたか。

**石崎**：自分で言うのも恥ずかしいですが、結構真面目な学生だったんです。講義は病気以外で休むということはありませんでしたし、それなりの成績も取っていたと思います。でも、一方で映画を見たり、落語が好きだったので寄席に行ったりもしました。本も多方面にわたるものを読みました。大学時代にいろいろなことを楽しんだのが今の生きる糧になっていると感じていますので、大学生のみなさんには、比較的時間に余裕がある時にいろいろなことを楽しんでもらいたいと思います。



江橋節郎先生ご夫妻と

**小島**：医学の道に進まれたのはどのような理由があったのでしょうか。

**石崎**：小学校低学年の時には、落語家になりたいと思っていました。親戚の家に行っては落語を一席、と披露していたんです。ちなみに私の十八番は「時そば」ですね。もう少し成長すると、私は父が内科医なので、自然と医学の道を志すようになりました。小学生の頃に父から教えてもらった「微生物の狩人」というコッホやパスツールなどの細菌学者の評伝をまとめた子ども向けの本を読んで彼らが私のヒーローになりました。このことが研究の道に進む原動力になったのだと思います。

**小島**：学生時代にはキャリアに悩んだりしなかったですか？

**石崎**：そうですね、臨床の道に進むか、研究を続けるかは悩みましたが、やはり小学生の頃にコッホやパスツールに憧れたというのが原点にありますし、もう

一つ医学科の学生の時に薬理学を教わった江橋節郎先生が非常に立派な方で、あんな先生になりたいな、と思ったのも理由です。

**小島**：どんな先生だったんでしょうか？

**石崎**：その先生は非常に大きな仕事をされて、業績をたくさん残されているので学生にとってはスターでしたね。とても偉大な先生で、どんなに忙しくてもお正月の三が日を除いて毎日必ず実験をする、というすごい方でした。そんな先生が私たち学生に話してくれて印象に残っているのは「最近の若者は成果だけを気にしすぎる。我々の世代は実験すること自体が楽しかった」ということでしょうか。

**小島**：僕自身も研究をしていますが、やはり結果が欲しくなってしまうですね。先生も成果を気にされていたか。

**石崎**：そうですね、でも実験をしている最中は楽しくて没頭していましたよ。

**小島**：大学時代の友人関係やサークルなどはどんな思い出がありますか。

**石崎**：大学時代にできた友人は今でも悩みごとがあると相談し合ったりしています。卒業後、失恋した時に慰めてもらったり。(笑) 彼の悩みの相談に乗っ

たりもしています。

**小島**：大学はさまざまな人との出会いの場だと思います。人生の岐路となったような出会いはありましたか。

**石崎**：やはり江橋先生に憧れて基礎研究の道に進んだという所がありますので、人生の岐路となった出会いと言えばそれが大きなものではないでしょうか。

**小島**：進んでみて「思ったのとは違うな」と思ったことなどはありましたか。理想との乖離で悩んだり。

**石崎**：研究の道を選んで失敗したな、とは思いませんでした。臨床の道に進んでいたら、例えば収入の面などではその方が良かったのかもしれませんが。貧乏暮らしでしたが後悔はしませんでした。

**小島**：進路に悩んだらこうする、というようなことはありますか。考え方や基準などですが。

**石崎**：私はその時自分が一番何をしたいかで決めてきましたね。

**小島**：やはり自分がどう思うか、ということが重要なんですね。

### Profile



**小島 優樹**

桐生市出身。共愛学園高等学校卒業。光化学を利用した光結晶化と光がん治療の研究を行う光物理化学研究室(奥津研究室)に所属。GFLの「2019年度研究テーマプロポーザル発表会」で優秀発表賞受賞。趣味は10km程度のランニング。早期卒業により2021年4月から群馬大学理工学府に進学。

**石崎 泰樹**

医学博士  
宮城県仙台市出身。小学生の頃は落語家を目指したが、内科医だった父親の影響を受けて医学の道に進む。東京大学医学部医学科卒業。東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。ユニヴァーシティカレッジロンドン生物学部客員研究員を務めた後、東京医科歯科大学研究科助手、神戸大学助教授などを経て2001年に群馬大学医学部助教授に着任。2004年に教授に昇任、2017年群馬大学医学部長に就任。2021年4月から群馬大学 学長に就任。



## 英国留学で「日本」を考える機会が増えました

**小島**：自分は将来グローバルな仕事をしたいと考えています。石崎先生は英国で客員研究員をされていたご経歴がありますが、その時の経験をお聞かせいただけますか。

**石崎**：私が留学したのはユニヴァシティカレッジロンドンという所なのですが、そのラボの教授はカナダ人でほとんどが米国からのポスドクで、英国人は技術補佐員1人だけでした。その時に感じたのは米国人と英国人は随分違うなということでした。文化の違いも感じましたし、とにかく、日本や日本の文化について尋ねられるんです。あらためて日本について考えさせられる機会が多くありました。それから、私はミステリー小説も好きなのですが、ロンドンに住んでみてシャーロック・ホームズやアガサ・クリスティのミステリーに出てくる地名が身近に感じられたのも嬉しかったですね。

**小島**：先生はご自身で手紙を書かれて留学された、と伺いました。その行動力はすごいと思うのですが。

**石崎**：やはり論文を読んで「この先生と一緒に実験してみたい」と強烈に思ったんです。いろいろな論文は読みましたがやはり一緒に仕事がしたいと思ったのはその先生だけでした。それで手紙を書いたんです。

**小島**：ずっと英国に残りたい、という想

いはなかったですか。

**石崎**：実はその時は日本の大学の仕事を休職して留学していたんです。残らないかと誘われ、研究の環境も当時英国の方が良かったので続けたいという想いもありましたがやはり日本で仕事を続けたいとも考えました。

**小島**：英国は食べ物があまり美味しくないとかよく聞きますが、それは困らなかったですか。(笑)



ユニヴァシティカレッジロンドンのマーチン・ラフ研の仲間と(後列左端が石崎でその隣がラフ教授)

**石崎**：サンドイッチなどのピクニックに持って行くような食事はとても美味しかったですよ。

**小島**：海外で働くには英語力が重要になると思うのですが、石崎先生はどのように英語を身に付けられたのでしょうか。

**石崎**：そうですね、ポイントになることは聞き取るヒアリングだと思いました。

話すことは片言でも何とかありますが、まずは相手が何を言っているのかわからなければ会話が始まらない。ヒアリングは映画を見るときに英語の字幕などで勉強しましたね。子どもが小さかったので留学時代にサウンドオブミュージックやディズニーのアニメの英語版ビデオをよく見ました。

**小島**：影響を受けた本や映画、座右の銘などを教えていただけますか。

**石崎**：座右の銘としてまずあげるとすれば大学1年生で読んだ英語の本にルイ・パスツールの言葉としてあった“Chance favors the prepared mind.”「チャンスは準備された心のみを訪れる」というものですね。これはその後ずっと大事にしている言葉です。やはりきちんと準備していないと幸運は訪れないですね。それともう一つ、これも大学1年生の時にドイツ語の教科書で覚えた言葉ですが、ゲーテ「ファウスト」の一節で“Es irrt der Mensch, so lang' er strebt.”、英語では“Man errs as long as he strives.”「人は努力する限り迷うものである」、これもなかなか味のある言葉です。

そして論語の一節などもいいですよ。例えば「巧言令色鮮なし仁(こうげんれいしょくすくなしじん)」つまり、愛想のいい人はあまり信用してはいけない、ということですね。

**小島**：なるほど。映画などはいかがですか。

**石崎**：ロンドン留学時代にテレビで放映された小津安二郎の「東京物語」や「秋日和」を見て感銘を受けましたね。今思うと「秋日和」の舞台の一部は榛名と伊香保だったんです。後に群馬に来て榛名富士を見て感激しました。

**小島**：意外な群馬との繋がりでですね。

**石崎**：たまたまですけど、それだけ群馬が良い所ということじゃないですか。(笑)



## 群馬の食はどれも大満足の味!!

**小島**：群馬大学は現在半数近くが県内出身者ですが、石崎先生は宮城県仙台市のご出身と伺いました。先生の群馬お気に入りの場所や食べ物はありますか。

**石崎**：まずなんと言っても温泉ですね。伊香保、草津、水上温泉はそれぞれ何度も行っていますが、まだ四万温泉と法師温泉に行ったことがないんです。ぜひ機会を見つけて行ってみたいと思っています。

それともう一つ、赤城山はお気に入りのスポットです。中学生時代に国語の教科書で知った水原秋桜子という俳人の「啄木鳥や落ち葉を急ぐ牧の木々」という俳句が好きなのですが、この句が詠まれたのが赤城山登山の際だったというのを最近知って、実際に落ち葉の季節に赤城山に登って啄木鳥が木を叩く音を聞いてみたいと思っています。

私は食べるのが大好きなので、食べ物について言えば群馬県はとっても魅力的ですよ。もちろん野菜は美味しい

ですし、お肉が鶏肉も、豚肉も、牛肉も本当に美味しいですね。実は大学生の頃からの愛読書に吉田健一の「私の食物誌」という本があって、その中に「群馬の豚肉」「群馬の鶏」「高崎のハム」「高崎のベーコン」という項目があって以前からこれらを食べたいと思っていました。実際に群馬に来て食べてみるとどれも本当に美味しく、豚肉などはどんな調理法でも美味しいので大満足しています。

**小島**：先生が実際に群馬に来る前と来た後で印象は変わりましたか。

**石崎**：そうですね、私のイメージからすると「群馬の人はあまり訛りが無い」という印象でした。例えば茨城や栃木は東北出身の自分にとっても親近感がありますが、群馬の人はほとんど訛っていないですよ。そこが謎でもあります。(笑)

**小島**：田舎なのかと思っていいたら意外とそうでもなかった。

**石崎**：ええ、そうですね。

**小島**：では、最後に群馬大学の受験を考えている高校生にメッセージをいただけますか。

**石崎**：はい。群馬大学では新たに文理横断的・異分野融合的な知を備えた人材育成を目指して情報学部を設置しました。群馬大学は新たな知の領域を創造し、その領域においてグローバルリーダーとなることを目指します。また情報学部は数理データ科学教育研究センターと連携し、来るべき社会で必須となるICTリテラシーを共同教育学部、理工学部、医学部など全ての学生に提供するとともに、全ての領域の学生・研究者の研究活動をデータサイエンスで支援しますので、群馬大学で学べば将来どの分野に進んでもその分野のリーダーになれると思います。是非群馬大学にいらしてください。

**小島**：石崎先生、ありがとうございました。以上でインタビューを終えたいと思います。





# 群馬大学を知ろう【授業と研究紹介】

群馬大学の広報誌「GU'DAY」では、群馬大学をより深く知る情報を発信しています。その中から「イマドキの授業」や「特徴的な研究」をご紹介します。詳細は「群馬大学 受験生応援サイト」で公開中！

## 【群馬大学の授業って？】

群馬大学の特徴的な授業を学生広報大使が取材、紹介しています！

詳しくはこちら



ex.1



### 医学部保健学科 「血液検査学実習」

大学院保健学研究科 生体情報検査科学

教授 齋藤 貴之 先生

病気になった時だけでなく、健康診断や人間ドックなどの際に血液検査を行うことで病気の初期に異常を見つけることができるようになりました。血液検査学は診断の治療と密接に結びついた、重要なものです。そんな血液の検査のために行う学問が「血液検査学実習」です。齋藤先生にこの授業の重要性や学生に望むことなどを伺っています。

ex.2



### 共同教育学部 「体育科指導法」

共同教育学部 保健体育講座

教授 木山 慶子 先生

学校の授業は学習指導要領に基づいて実施されています。まずはその学習指導要領の中で体育の授業がどのような目標、方法、評価によって行われているのかを理解してもらい、基礎的な知識を得てもらうことが目的です。実際に身体を動かしながらの木山先生の授業の様子を知ることができます。体育が苦手という学生の悩みにも答えています。

ex.3



### 情報学部 「社会情報学プロジェクトA- II」

＜ハンセン病について学び考える新授業＞

情報学部 情報学講座

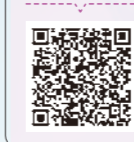
教授 西村 淑子 先生

体験型の必修授業として学生たちが草津へとフィールドワークに行き、ハンセン病について学び、考えるものです。『公務と法律』を受講する学生向けの授業で行政法が専門の西村先生に授業の内容や実践から学ぶことの重要性について伺った内容、実際の学生の実習成果について紹介しています。

## 【群馬大学の研究って？】

群馬大学の先進的な研究を大特集しています！

詳しくはこちら



## 研究紹介

ex.1



### 新型コロナウイルス 研究特集

世界中の研究者が取り組む新型コロナウイルス感染症。群馬大学でもさまざまな角度から多くの先生方が研究に取り組んでいます。そんな研究の中から3名の先生方の研究についてご紹介しています。医学的なアプローチや感染拡大防止グッズの開発まで、群馬大学独自の研究成果をご紹介します。

ex.2



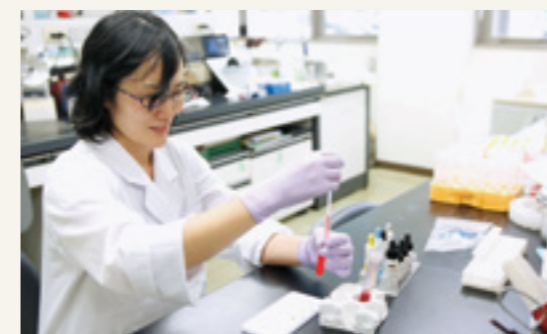
### 「次世代の映像利用技術」

情報学部 情報学講座

教授 奥 寛雅 先生

「ダイナミックイメージコントロール」というコンセプトを提案して、高速画像処理や新規光学デバイスに基づく新しいタイプの映像利用技術を中心に研究を進めている奥研究室。難しい内容を分かりやすく事例をあげながら紹介しています。

ex.3



### 「ABO 式血液型の謎」

大学院医学系研究科 法医学分科

准教授 佐野 利恵 先生

日本では、多くの人が自分の血液型を知っていて、遺伝することも知られていますが、実は血液型の正体についてはよく知られていません。「そもそも血液型って何？」というところから遺伝子検査ビジネスまで、佐野先生の研究を分かりやすく紹介しています。

## 群馬大学教員による「ミニ講義」体験！

群馬大学の教員による講義が気軽に体験できます。現在24名の先生の講義を公開中。

詳しくはこちら





## すべての学生にデータサイエンス教育を！

### 社会的な背景

これからの情報を基盤とした社会においては、数理・データサイエンス等の基礎的な素養を備え、大量のデータを正しく扱い、新たな価値を創造する能力が必要となっていきます。基礎及び応用科学はもとより、特にその成果を開発に結びつける学問分野においては、数理・データサイエンス等を基盤的リテラシーと捉え、文理を超えて共通に身につけていくことが重要とされています。

群馬大学は、文部科学省が進める「大学の数理・データサイエンス教育強化」の協力校に選定され、北関東唯一の数理・データサイエンス分野専門の「数理データ科学教育研究センター」を設置しました。このセンターが中心となって、**2020年度から、全ての学部新入生（1年生）の必修科目として「データサイエンス」を開設**しました。

文理を超えた数理・データサイエンスに係るリテラシーの涵養と基礎的能力の充実を図ることを目的とし、社会において実践的に活躍するための数理的思考力を持った人材の育成を進めていきます。

### 「データサイエンス」はこんな授業です。

コンピュータの仕組み、Excelの使い方、ネットワークとサービスを学んだ上で、最終演習として実際に生きたビッグデータを用いてのデータを分析します。

※2020年度の最終演習問題

「過去3年間のプロ野球12球団全ての1球ごとの膨大な対戦データ（データスタジアム株式会社より提供）」を用いて、以下の演習問題を提出せよ。

- 演習問題「このデータを用い、わくわくする分析を下さい。必ず分析の目的を述べ、分析の過程もなるべく示して下さい（例：お祭り男を探せ（1本ヒットを打つと、以後同じ試合内では打たない場合より打率が一定以上上がる選手を探す）」

### 「データサイエンス」を学ぶとこんなことができるようになります。

- コンピュータやインターネットの基本的仕組と適切な利用の仕方を理解することができる。
- データを取り扱うために必要なパソコン、アプリの操作ができる。
- Excelを用いて、データが持つ性質について把握することができる。
- 統計データを適切に処理することができる。
- 簡単なプログラミングができる。
- 群馬大学のICTサービスを利用することができる。



● 最優秀賞の授与  
「データサイエンス」の最終演習問題の課題提出において、最も優秀な課題を提出した学生には、数理データ科学教育研究センター長名で、最優秀賞を授与しました。

## 新型コロナウイルス感染症に伴う学生支援の取り組み（2020年度）

群馬大学では、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済的に困窮した学生等に対し、多くの皆様からご協力いただいた「群馬大学基金」等を活用し、以下のとおり、学生支援の取り組みを行いました。

### その1 奨学金給付等事業

#### ● 緊急学生支援奨学金給付 大学独自(基金+大学経費)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会情勢等の変化により、困窮状態にある学生に対する緊急支援のため、返済を要しない緊急学生支援奨学金を給付しました。

▶ 5万円を約950人に給付（総額約4,750万円）

#### ● 入学料免除、授業料免除等 文部科学省支援

#### ● 大学院生への奨学金給付 大学独自(基金)

経済的困窮度が高く、意欲と能力のある大学院生に修学支援金を給付しました。

▶ 20万円を約12人に給付（総額240万円）

#### ● 学びの継続のための『学生支援緊急給付金』

文部科学省支援

### その2 オンライン授業サポート事業

#### ● 学生のオンライン授業受講環境整備支援

大学独自(基金)

オンライン授業を受講するための環境を新たに整備した学生に対し、経済的な支援を実施しました。

▶ 1万5千円を約770人に給付（総額約1,150万円）

#### ● オンライン授業に伴う通信機器(PC等)の貸出し 大学独自

PCやネットワーク環境が準備できない学生には、機器の貸し出しを実施しています。

▶ PC 105台・ルーター75台を貸出し

#### ● 遠隔授業等の環境構築事業 文部科学省支援

### その3 その他サポート事業

#### ● オンライン相談会の実施 大学独自

(健康支援総合センター・学生支援センター)

学生の心身の健康の保持増進を図ることを目的とする健康支援総合センター及び学生生活・就職活動に対する支援、修学に係る相談等を行っている学生支援センターにおいて、両センター所属の教員が、学生の心身、人間関係や勉学など修学にまつわる悩みについて、オンラインによる相談会を実施しました。

▶ 学部新入生を対象とした相談会 3回

▶ 学部在学学生を対象とした相談会 2回

#### ● 学生寮の感染防止対策環境整備 大学独自

学生寮における新型コロナウイルス感染防止対策として、アルコール消毒液、除菌スプレー、サージカルマスク等を購入し、寮内の環境を整備しています。

#### ● 国費外国人留学生受け入れサポート

国費外国人留学生については、入国の際、14日間の宿泊施設等での待機が必要となることから、これにかかる食事代等の滞在諸費用を補助しました。

文部科学省支援+大学独自(基金+大学経費)

#### ● 新入生に対するオンラインサポート 大学独自(基金)

新入生に対し、2年生以上の学部学生がサポーターとして、Zoomによるオンラインサポートを実施しました。2年生以上のサポーターには、大学業務への協力による謝金を支給しました。

▶ 5日間実施 新入生 108名 参加

▶ 2年生以上のサポーター 21名 参加

#### ● 動画配信やZoomを使用した就職支援の実施 大学独自

就職ガイダンスをライブ配信や収録動画で配信し実施しています。就職相談は、Webカウンセリングとして実施しています。

▶ 就職ガイダンス 18回 参加延べ人数 約1,600名

▶ 就職相談 97日 相談延べ人数 約330名

※2020年10月末現在

#### ● 聴覚障害学生に対する情報保障サポート 大学独自

聴覚障害学生に対する情報保障に必要な機器類(iPad、スピーカー、ヘッドホン、オーディオ変換ケーブル等)を整備し、オンライン授業における情報保障を実施しています。



# 荒牧 Aramaki Campus キャンパス

群馬県前橋市荒牧町4-2

共同教育学部・情報学部（社会情報学部）の全学生と初年次教育を学ぶ医学部・理工学部の学生（1年次）が通うキャンパス。

※全学部1年次は荒牧キャンパスに通います



① 正門からの風景



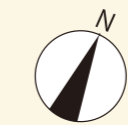
⑥ 11号館  
(次世代モビリティ社会実装研究センター)



⑦ 大会館  
(国際センター・多目的ホール・学生食堂・売店・アトリウムラウンジ)



⑧ 10号館  
(情報学部・社会情報学部の校舎)



① 宅配ロッカー  
[PUDOステーション]  
※PUDOステーションは、誰でも利用できるオープン型の宅配便ロッカーです。こちらのサービスを利用することで、自宅以外での荷物の受け取りが可能となります。詳しくは下記のURLをご覧ください。  
[www.packcity.co.jp](http://www.packcity.co.jp)



- 電車** ● JR両毛線にて前橋駅下車、北方へ8km
- バス** ● JR前橋駅北口2番乗り場（関越交通バス）  
● 群馬大学荒牧経由渋川市内循環渋川駅行、小児医療センター行「群馬大学荒牧」下車（所要時間約28分）  
● 渋川駅行、渋川市内循環渋川駅行「前橋自動車教習所前」下車（所要時間約25分+徒歩10分）



② 総合情報メディアセンター  
(中央図書館)



③ 1号館  
(大学教育・学生支援機構(学生センター))



④ 6号館  
(共同教育学部校舎)



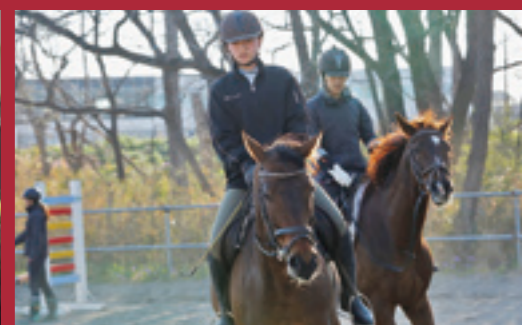
⑤ 課外活動施設



⑨ キャリアサポート室

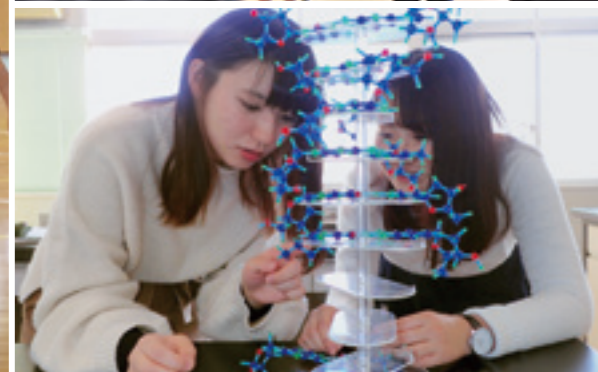


⑩ 健康支援総合センター



⑪ 馬場





荒牧  
キャンパス  
Aramaki Campus

# 共同教育学部

Cooperative Faculty of Education

全国初の共同教育学部 群馬の教師教育の拠点

共同教育学部は、小学校、中学校、高等学校、幼稚園および特別支援学校等の教諭を目指す人が学ぶ学部です。小・中・高・幼・特別支援等の中から複数の教員免許状を取得できます。学校教育に対する多様な要求に対し、柔軟かつ効果的に応えられる高度な専門的知識・技術と豊かな人間性を身につけた教育者の養成を目的としています。1年次から4年次まで、学校現場に触れる教育実習関連科目を用意しています。

系	専攻	概要
人文社会系	■国語専攻 ■社会専攻 ■英語専攻	各教科の専門的知識や小学校・中学校の教科指導法について修得します。
自然科学系	■数学専攻 ■理科専攻 ■技術専攻	
芸術・生活・健康系	■音楽専攻 ■美術専攻 ■家政専攻 ■保健体育専攻	教育学・教育心理学の専門的知識や小学校の教科指導法について修得します。
教育人間科学系	■教育専攻 ■教育心理専攻 ■特別支援教育専攻	

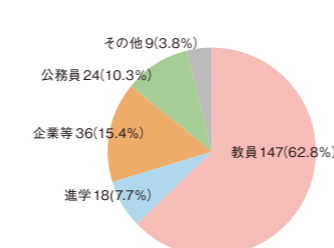
**取得できる教員免許状**

- 1種免許は基礎資格(免許状を取得するために必要な資格)が学士(大卒以上)で、2種免許は準学士(短大卒等)になります。1種免許は、2種免許より単位を多く修得しなければなりません。
- 公立の小・中・高・特別支援学校に採用されるには、各都道府県の教育委員会が実施する教員採用試験に合格する必要があります。本学部では、学生が教員採用試験に合格するように対策講座や面接指導などのきめ細やかな支援を行っています。

専攻	特別支援教育専攻	
	特1種・小2種コース	特1種・中2種コース
卒業時	●小学校1種 ●中学校1種(専攻教科)	●特別支援学校1種 ●小学校2種 ●特別支援学校1種 ●中学校2種(1教科)
他に取得可能な免許	●中学校2種(他教科)又は特別支援学校2種 ●高等学校1種 ●幼稚園1・2種	●幼稚園1・2種 ●中学校1種(中学校2種と同じ教科) ●特別支援学校2種 ●高等学校1種 ●小学校1種 ●中学校2種(1教科) ●幼稚園1・2種 ●小学校2種 ●中学校1種(中学校2種と同じ教科) ●高等学校1種 ●幼稚園1・2種

## 共同教育学部

卒業生数 234 (2020年度)単位:人



群馬県公立学校教員採用試験の校種別結果と占有率

	2021年度採用		群大教育学部	
	全合格者数	合格者数	占有率	占有率
小学校	130	16 ( 8)	12.3%	
中学校	200	98 ( 17)	49.0%	
特別支援学校	51	12 ( 9)	23.5%	
小計	381	135 (34)	35.4%	
高等学校	51	4 ( 3)	7.8%	
全合格者 合計	432	139 (37)	32.2%	

新卒者(大学院、専攻科を含む)の群馬県公立学校教員採用試験志願者と試験結果

年度	志願者数	一次試験合格者数	二次試験合格者数
2019年度採用	187	146	126
2020年度採用	154	136	113
2021年度採用	158	138	102

**■主な就職先(2020年度)**  
群馬県内および各都道府県の教員(公立小・中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園、私立学校ほか) 地方公共団体(前橋市役所、高崎市役所、伊勢崎市役所、渋川市役所、陸上自衛隊、群馬労働局) 企業等(群馬銀行、(株)東和銀行、SONPOケア(株)、群馬ダイヤモンドベガス、アストラゼネカ(株)、東京海上日動パトナース、セビオ(株)、(株)ツルヤ)



# Interview

## 音楽の感性を磨いて、 子どもたちに還元したい

### 専攻内オーケストラで 一から作る団体演奏を自ら体験

「音楽関係の仕事をしたい」というのは、ピアノを習っていたり吹奏楽部に所属していた人なら、誰でも考えたことがある進路だと思います。そういう私は、

中学生時代の恩師にあこがれていたこともあり、音楽の教員を目指すようになりました。群馬大学には「アットホームでのんびりした」群馬ならではの雰囲気があって、勉強に集中できるその環境をとくに気に入っています。

入学して「群大音楽科シンフォニカ」という、教育学部音楽専攻・副専攻の学生による学生オーケストラに入りました。未体験の楽器にチャレンジする団員も多いのですが、自分たちが将来、小学校、中学校で一から楽団を育成するのに役に立つ経験を積んでいます。教育学部で、このような音楽教育に則した実践を積める大学は多くはないと思います。

本学部には、「教育現場体験学習」といって、1年次から学校現場に接する機会があります。5日ほどの短期間でしたが、ここで現実的な覚悟がもてたことは良かったと思います。音楽専攻の授業では少人数精鋭ありがたいです。全学年で60人ほどなので先生方のフォローも手厚いように思います。学友に関しても、みんな志が高くて、しかも教育という同じ方向性をもつ仲間ばかりで、「私も頑張ろう」と、気持ちが後押しされます。

今西 真紀さん Imanishi Maki

教育学部 音楽教育専攻 2年  
(群馬県立前橋女子高等学校出身)

### 学びのなかに受け身の姿勢は 必要ない

2年次はコロナ禍の中での学生生活でした。残念なことにオンライン授業がメインでしたが、パソコンスキルが上達したことは思わぬ収穫でした。先生にも「この遠隔授業の経験は、きっと将来の糧になるから」と言われました。

教師像については漠然とイメージする段階なのですが、私自身の個性や感性を授業に活かせればと考えています。世界の音楽やジャズやポップスを取り入れた、映画や演劇、映像などに合わせた音楽を作りたいと考えていて、その曲を使って生徒の感性を刺激したいです。子どもたちの目がキラキラするような音楽の魅力を伝えられたら、どれほどいいでしょうか。また、個人的に社会人吹奏楽団に入っていて、バスクラリネットを吹いています。自分の音楽の理解を深めて、それを子どもたちに還元したいと考えています。

教師という職業は、常に自分も成長していかなければなりません。ピアノ、声楽、オーケストラの諸楽器、ソルフェージュ、和声学、対位法、作曲法、音楽史などの音楽専攻の項目に加えて、ほかの専攻の教育法についても学ぶ必要があります。取り組むことはたくさんあるので、受け身にならず積極的な姿勢で学ぶことで、学生生活を充実させたいと思っています。



※学年は取材時のものです。

# Interview

### 創作に明け暮れた学生時代

高校は美術系の芸術コースに在籍していて、もともとは映画監督になりたいという夢を持っていました。入学時には教員になろうとは考えていなくて、「大学にいけば作品制作に力を注げるのではないか」という動機での入学でした。

在学中には、油絵、アクリル画、立体造形などの制作に熱中しました。4年間で40ほどの作品を仕上げ、小さなギャラリーで仲間と合同展を4回ほど開き、さらに大学院時代には、個展開催まで実現することができました。当時の絵画研究室の先生には非常に熱心な指導を受けて「作品をみたり、つくったりすることへの姿勢」などを学び、表現に説得力が加わった気がします。

3年次に教育実習を経験すると、自分が子どもと関わるのが好きだと実感し、修士に進学して「子どもの感性や人間性を伸ばす教育に美術がとても役に立つのではないか」と気づいて教員になることを決めました。進路を決めるのに時間がかかりましたが、群馬大学にはそんな自分をも許容する雰囲気があって、そこで学べたことは幸いだったと思っています。

### 大学 OB・OG が集まって美術教育の向上に挑む!

教育現場に立つようになって、「今の美術教育をもっとよくしていきたい」と考えるようになりました。創作を通じて「子どもたちの自己肯定感」や「自己決定していく意志」を育むより良い方法があるのではないか、「彼らの目が輝くような授

業があるのではないか」と考え、群馬大学の美術専攻の卒業生が集まり「群馬美術教育研究所」を立ち上げました。2016年から7名ほどで、版画工作科・美術科の授業で困っている現場の先生方をアシストする方法を研究しています。月例会では、題材開発、実践報告、勉強会など、毎年1月には、美術教育をテーマにした展覧会開催、そして学校外での造形ワークショップも企画しています。仲間と問題意識を共有したり、業務外の活動で力を合わせたり、このようなグループが生まれる土壌があるのが群馬大学の底力、教員育成の地域基幹大学の面目躍如ではないでしょうか。この活動が認められ、2019年には「読売教育賞美術教育部門優秀賞」を授与されました。今後、さらにこの活動を広げていきたいです。

教員を選択するまでに時間が掛かりましたが、今では、自分の創造性を教育に活かせる美術教師という職業にとっても可能性を感じています。自分の個性や考えを許容して教員に育ててくれた大学に感謝したいです。

無駄に見えることにも価値はあるものです。みなさんには、いろいろなことにチャレンジする学生生活を送ってもらいたいです。

大塚 裕貴さん Otsuka Yuki

群馬大学共同教育学部附属小学校勤務  
教育学部 美術専攻 2012年度卒業  
教育学研究科 修士課程美術教育専修  
2014年度修了  
(高崎市立高崎経済大学附属高等学校出身)



## 大学が自分の個性や 考えを尊重して育ててくれた





Faculty of Informatics

荒牧  
キャンパス  
Aramaki Campus

# 情報学部

誕生

## 文理融合 データサイエンス教育の拡充

群馬大学では、社会情報学部と理工学部電子情報理工学科情報科学コースにおいて実施されてきた情報学の教育を統合し、データサイエンス分野の教育も取り入れた「情報学部」(定員170名)を2021年4月に設置しました。

情報学部では、科学技術と人間社会の調和が求められる持続可能社会の実現において、情報を基軸とした文理横断型の教育により、Society 5.0を支え、IoT、ビッグデータ、統計的解析手法等のスキルを持ち、人文科学、社会科学、自然科学の知識を有した人材を育成します。



## プログラム概念図

### 1年次 学部基盤教育

どのプログラムにおいても基軸となる専門能力を養い、プログラム横断型の科目の履修を通じて文理融合による俯瞰力を育成

### 2年次 希望するプログラムを選択

## 情報学

融合型PBL・ゼミ(演習)・卒業研究により実践的に活躍できる能力を涵養



### 人文情報プログラム

言語メディア論

マス・コミュニケーション理論

ソーシャルメディア論

情報社会と倫理

社会的コミュニケーション基礎論

【養成する人材像】人文科学的知見を活用して高度情報化社会における課題を探索する能力を修得し、課題解決のための実践的理念を提供する能力を修得します。

●将来のキャリアビジョン:  
マスコミ・メディア産業/情報通信関連企業/広報部署/企画・調査部署/公務員/社会起業家 など



### 社会共創プログラム

情報政治論

情報社会と人権

情報法・行政法

経済学基礎論

政策情報論

【養成する人材像】高度情報化によるシステム(制度)の変化について、社会科学的知見を活用して課題を発見し、社会的課題の解決および社会目標の達成のためのシステム(制度)の構築や方策を提案できる能力を養成します。

●将来のキャリアビジョン:  
公務員/金融機関・情報通信業/企画・営業部門/ファイナンシャルプランナー/証券アナリスト/アクチュアリー/経営コンサルタント など



### データサイエンスプログラム

機械学習

確率統計

数理最適化

医療情報学

データベース

【養成する人材像】社会全体から集められるビッグデータを、情報システムを利用して収集する方法を設計し、集まったデータから、目的とする価値に適合した解決策を導く能力を養成します。

●将来のキャリアビジョン:  
データサイエンティスト/システムエンジニア/情報サービス業・金融業・製造業等のIT関連研究開発者/公務員/アクチュアリー/経営コンサルタント/医療情報技術者 など



### 計算機科学プログラム

計算機システム

人工知能

情報ネットワーク

プログラミング言語

アルゴリズム

【養成する人材像】計算機や情報ネットワークをその数理的原理から理解することで、進歩の速い情報技術をフォローアップできる能力をもち、人工知能や各種情報システムを研究開発できる能力を養成します。

●将来のキャリアビジョン:  
ITエンジニア/情報通信機器開発者/組み込みシステム設計開発者/システムエンジニア/企業等のIT関連研究者 など

## 入試は？

文系でも理系でも受験できます。

### 前期日程

- 数学、英語  
両方またはいずれか片方でも受験可能

### 後期日程

- 小論文  
大学入学共通テスト重視型、小論文重視型が選択可能

※入試科目の詳細については、7月公表の入学者選抜に関する要項をご確認ください。 ※学校推薦型選抜も実施します。



# Interview

## 3つのカテゴリーからの選択で自分の進む道を絞り込む

私が高校生のころから、スマートフォンを使った生活様式が一般的になってきました。

ITをはじめとするデジタルサイエンスの重要度も日々増していると思います。情報発信や情報処理の知識には大きな未来があると考えていました。群馬大学には「実践的な学び」を期待して入学しました。本学部はディレクション制が特徴で、2年次からは「メディアと文化」「公務と法律」「経済と経営」の3つのカテゴリーから、学びの方向性を選択できるようになっています。私は「公務と法律」を選択したのですが、他のディレクションの授業も受講できます。この自由度の高さも魅力です。「公務と法律」では、行政においてICT(情報通信技術)を活用するための知識やスキルを身につけたいと思っています。将来的に公務員として市民と行政の懸け橋になりたいと希望しているので、卒業までの期間で、その職責を担える人材に成長したいです。

1年の時から「データ解析プログラム」に参加しています(本来は2年次から)。ここではデータ解析手法の実践的活用方法や、解析すべき問題点を発見する手法を学びます。本来なら大学院で取り組む課題なのでハードルは高いので

中澤 未来さん Nakazawa Miku

社会情報学部 社会情報学科 2年  
(高崎健康福祉大学高崎高等学校出身)

「情報」という広い領域を自分の視点で探究したい

すが、「大学は積極的に学んでこそ楽しい」という気持ちで挑戦しています。

## 学生生活のなかで、変わっていく自分を見るのは楽しい

みなさんは大学生活をどのようにイメージしていますか。交友関係を広げたいのならサークル活動に参加するのも一つの方法です。私は入学して間もないころ、「履修相談会」や「新入生交流会」に参加し、楽しくリラックスして学生生活のスタートを切りました。そしてこれらの企画を主催する生協学生委員会に入ることになりました。ここでは学部を横断した50名ほどの部員と一緒に、企画を練ったり行動を起こしたり、学生ならではの自立した運営にたずさわっています。入学して2年経って思うのは、「私もずいぶん変わったな」ということです。以前は控え目だった自分が、みんなの前で自分のアイデアをアピールすることが苦にならなくなりました。優しい仲間とワイワイやりながら、リラックスして部活動に参加しています。勉強だけでなく、仲間と楽しく過ごす時間が作れるのも学生生活の魅力です。

社会情報学部は、入学後に自分の学びたい専門領域を絞っていきける、自由度の高いカリキュラムが特長です。一口に「情報」といっても漠然としてしまいが、きっと興味が湧く領域を見つけることができるはずです。同窓になったら、みなさんの学生生活を後押ししたいと思っています。

※社会情報学部は2021年4月に学生募集停止となりました。

# Interview

## 人生の歩む方向性を示してくれた多様な授業

### 経営学、行政学からプログラミングまで

高校生の時はこれとって学びたいこともはっきりしておらず、ましてや就職に対するイメージももっていませんでした。進学の決め手になった要素は、「さまざまな知識を学ぶことができる」という評判でした。

入学すると、受けることのできるカリキュラムの多様さに驚きました。自分の場合は、経済学から経営学、行政学、法律学、そしてパソコンを使ったデータ解析やプログラミングの授業を選択して、ワクワクする日々を送れたように思います。とくに客観的なデータに基づいて問題を解決する手法(オペレーションズ・リサーチ)は興味深く、ゼミや大学院でもこの手法を使った研究に取り組みました。また、実際の経営者に向けてのプレゼン実習はとても印象に残っています。

大学3年から4年にかけては大学の「交換留学制度」を利用して1年間イタリアで学ぶことができました。ゼミの先生には留学に理解を示していただき、留学先でもテレビ電話でリモート講義をしていただきました。おかげで4年間で卒業できたわけですが、先生のきめ細かい指導や協力体制がなければ中途半端な大学生活になっていたかもしれません。

卒業にあたって公務員を目指すことになりましたが、同じ道を目指す仲間が周囲に多かったので切磋琢磨して勉強に取り組める環境でしたし、彼らの姿には刺激を受けました。

### 公務員を選択した自分にとってのアドバンテージ

就職していざ実務に就くと、「大学で学んだ個々の授業がとても実践的だったんだ」とありがたく思うことが多いです。情報処理の基礎を学んでいるので、パソコンの使い方からちょっとしたホームページの作成、写真の編集作業などは経験がありました。また、行政の実務では法律に関わることが多いのですが、法律用語に馴染みがあって調べ事をする際に抵抗がありません。

これから行政のなかで自分のキャリアを築いていくわけですが、大学で学んだ「数値に基づいた客観的なデータから最適解を導き出す」という発想を広げたいという希望があります。高度情報化社会の現在でも、感覚に頼って意思決定を行うことがあると思います。私たちは、国民市民からの税金を使うわけですから、無駄を省き、より効果的で確実な施策立案を目指していきたいです。

みなさんには学生時代に、物事に壁を作らず多様な知識と経験に触れて欲しいと思います。そこで興味があるテーマが見つければとことん追究してみてください。きっと日々の生活の充実感も増すに違いありません。

榎 智瑛さん Enoki Chiaki

伊勢崎市役所・収納課勤務  
社会情報学部 情報社会科学科(当時)  
2014年度卒業  
社会情報学研究科 2016年度修了  
(群馬県立太田高等学校出身)





大学生活に役立つ施設も

# こんなに充実!

FACILITIES  
01

多目的複合施設  
大学会館



多目的ホール



売店



学生食堂



アトリウムラウンジ



アトリウムラウンジ

福利厚生(食堂・売店)・課外活動機能、地域社会との連携協力を図るための生涯学習センター的機能および留学生の受入推進と留学生の教育・交流を中心とした国際センター等の機能を有する多目的・複合施設です。

FACILITIES  
02

国際交流推進のための組織  
国際センター

国際センターでは、教育と研究分野における国際化を推進しています。学生の皆さんにさまざまな海外短期研修や交換留学プログラムを提供する一方、留学生の日本語教育、生活・学業支援を行っています。また、キャンパスでも海外を身近に感じてもらえるよう、English Café (外国人講師等との英会話)、Global Café (留学生と日本人学生との交流イベント)、グローバルフレンズ制度(ポイントを貯めながらさまざまな国際交流活動に参加)などを企画・運営しています。その他、グローバルチャレンジプログラム(群馬大学基金による学生の海外活動支援)も実施しています。



<https://www.guic.gunma-u.ac.jp/>



English Café



留学フェア



日本邦楽器演奏演習演奏会

FACILITIES  
03

完全自動運転など、  
次世代の交通のための研究施設  
次世代モビリティ社会実装  
研究センター(CRANTS)



専用試験路を走るe-com10

次世代モビリティ社会実装研究センターは自動運転自動車をはじめとする未来の交通手段を研究するセンターです。建物の中には自動運転自動車を整備改造するための車両整備開発室をはじめとして、遠隔操作遠隔操縦のための設備やシミュレーション室など、高度な設備が備え付けられており、多くの企業との共同研究を行っています。

また、公的な研究機関としては国内最大規模の約6,000㎡の専用試験路が併設されており、さまざまな技術課題に対応した実験を行うことができます。



自動運転実証実験中



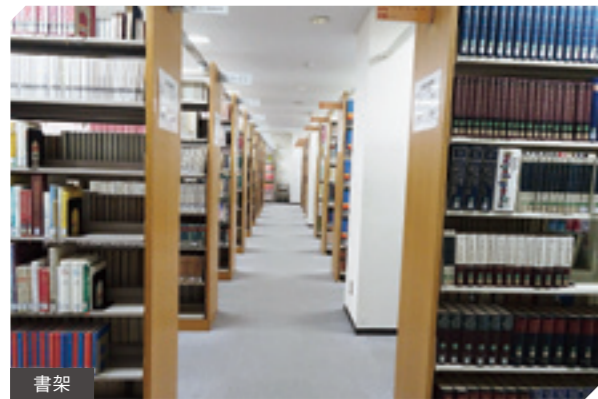
シミュレーション室

<http://crants.opric.gunma-u.ac.jp>





大学生活に役立つ施設も  
こんなに**充実!**



書架



閲覧室

1人用のキャレデスクもあります。

FACILITIES  
04

あらゆる学術ニーズに応える「知」の集積施設  
**総合情報メディアセンター**  
(中央図書館／情報基盤部門荒牧センター)

総合情報メディアセンターには、図書館と情報基盤部門があり、教育や研究、社会貢献活動を支援しています。図書館は各キャンパス（荒牧、昭和、桐生）にありますが、荒牧キャンパスの中央図書館では、学術書を中心に30万冊以上の図書を扱っており、雑誌等もあります。ノートPCの貸出しも行っており、館内で自由に利用することができます。無線LANも使用できます。

また、ラーニング・コモンズ「アゴラ」というディスカッションしながら学習できるエリアや、定期的に展示物を替えるギャラリーも備えています。そのほか、学生の皆さんにおすすめの資料を展示しているコーナーもあります。

情報基盤部門では、ネットワークおよび演習用端末の管理に加えて、各種ITサービスを提供し、本学の情報化と情報セキュリティ体制の強化を進めています。荒牧、昭和、桐生の各キャンパスに、利用者対応のための職員が配置されています。

<https://www.media.gunma-u.ac.jp/>



ラーニングコモンズ「アゴラ」

数人で相談しながら学習できるスペースです。



PC貸出ロッカー

貸出ノートPCを学生証で出し入れできます。無線LANを使って館内のどこでも利用できます。(館外持ち出し不可)



リフレッシュコーナー

当日の新聞と飲料の自動販売機があります。



ギャラリー

学内外の機関と連携して、さまざまな企画展示を行っています。



附属小学校におけるプログラミング教育



オンサイト施設

独立行政法人統計センターの有する調査票情報を提供

FACILITIES  
05

Society5.0を支える教育研究組織  
**数理データ科学教育研究センター**

数理データ科学教育研究センターは、超スマート社会 (Society 5.0) の基盤支援に向けて情報数理およびデータ科学を中心とした情報学分野の教育を展開するとともに、これらの素養を持った人材の育成および研究の推進を図ることを目的とした教育研究組織です。

<https://www.cmd.gunma-u.ac.jp>



スタジオにて全学部学生用のe-learning教材を作成



e-learning教材作成用の専用端末

FACILITIES  
06

群馬の食は世界を目指す  
群馬大学の新しい地域貢献のかたち  
**食健康科学教育研究センター**

食健康科学教育研究センターは、「食と健康」に関わる研究の推進および専門人材の育成により、大学の教育研究および社会貢献活動等の向上に資するとともに、地方公共団体および地方産業界等と連携して、地域産業の振興および社会における健康増進に寄与することを目的とした教育研究組織です。

<https://www.cfw.gunma-u.ac.jp/>



実験の様子



群馬県農業技術センターとの研究連携に係る覚書を締結



食品産業界のお話を熱心に聞く学生たち



リカレント教育



# 昭和 Showa Campus キャンパス

群馬県前橋市昭和町3-39-22

医学部医学科、保健学科の学生が集うキャンパス。

医学部附属病院、生体調節研究所、重粒子線医学センターなどの臨床や研究施設も整っています。



① 重粒子線医学センター  
(重粒子線照射施設)

② 刀城会館

③ 保健学科棟

④ 基礎講義棟



⑤ 生体調節研究所

⑥ ミレニアムホール



⑦ 学生食堂・売店

⑧ 石井ホール

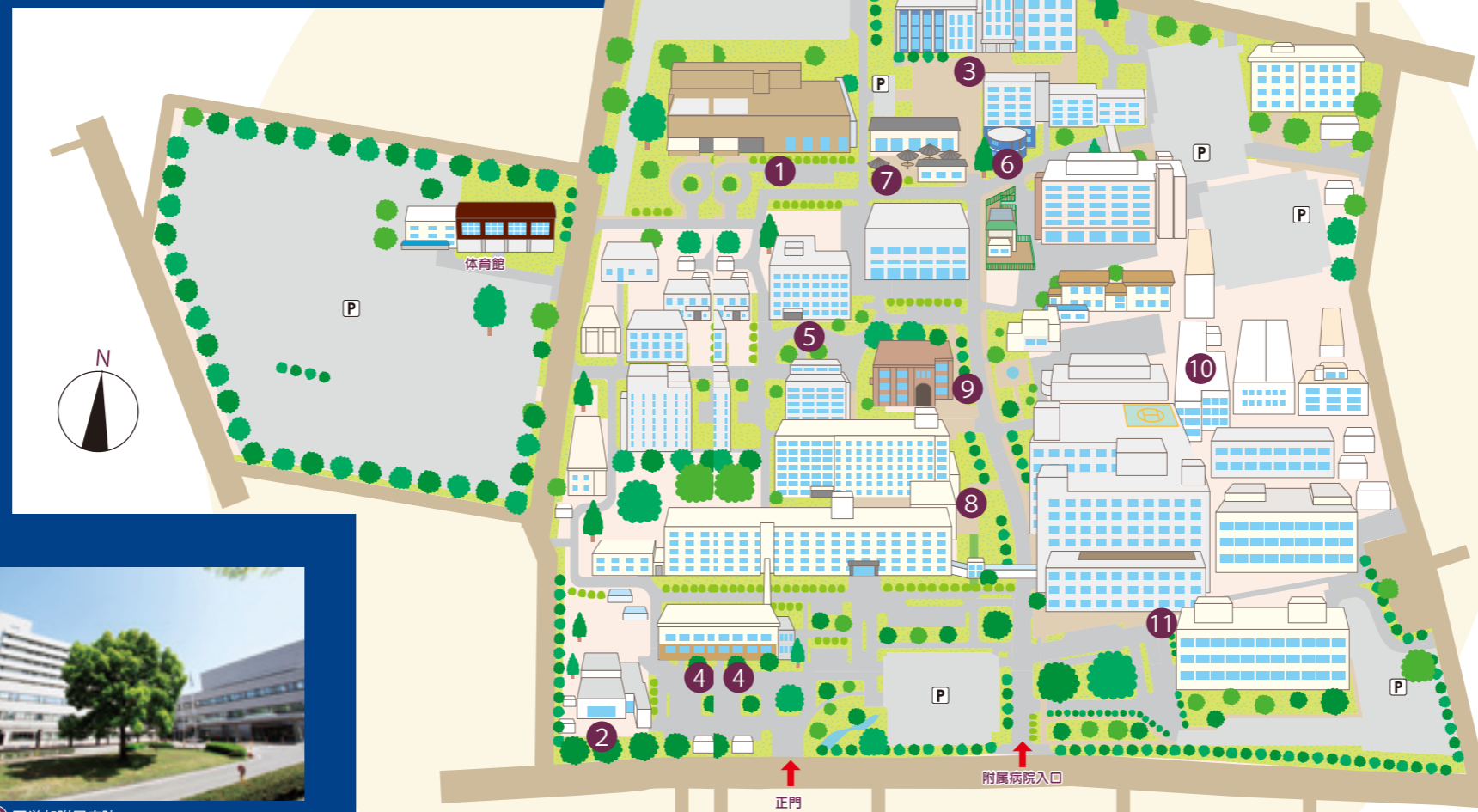


⑨ 総合情報メディアセンター  
(医学図書館)

⑩ アメニティモール  
(コンビニ・レストラン等)



⑪ 医学部附属病院



- 電車** ● JR両毛線にて前橋駅下車、北方へ4km
- バス**
- JR前橋駅北口2番乗り場(関越交通バス)
  - 全線「群大病院入口」下車(所要時間約13分+徒歩6分)
  - 群大病院行・群大病院經由群馬大学荒牧行、群大病院・南橋団地經由群馬大学荒牧行、群大病院經由南橋団地行「群大病院」下車(所要時間約15分)
  - JR前橋駅北口3番乗り場(日本中央バス)
  - 群馬総社駅線「群大病院」下車(所要時間約15分)



# 医学部 医学科

School of  
Medicine,  
Faculty of  
Medicine

## 北関東を代表する国立大学医学部 北関東に広がる強力な関連医療機関ネットワーク

教養教育から専門基礎・臨床にわたる6年間のカリキュラムを通し、科学的知 (Science) と倫理 (Ethics)、技能 (Skill) について広く学び、臨床・研究・行政・教育などさまざまな分野で「世界でも地域でも活躍できる医師」を育成しています。特に、医療の質・安全学については全国に先駆けて講座を設置し、医療安全教育・多職種連携教育の充実を図っています。

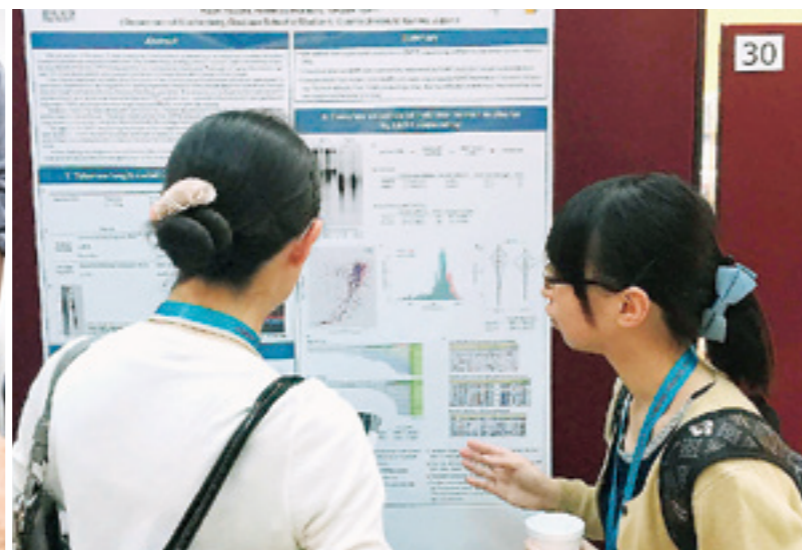
2020年度入学生からカリキュラムを刷新し、医師としての資質を涵養する教育にさらに力を入れています。4年次からの診療参加型臨床実習では附属病院だけでなく県内各地域の多くの医療機関の協力の下、地域の特性に応じた医療について学び、医師に必要とされる技能を修得できる体制を整えています。

### 取得できる資格

医学部医学科を卒業することが医師国家試験の受験資格となり、医師国家試験に合格すれば医師免許を取得できます。なお、医師免許取得後に診療行為を行う場合には、所定の2年間の医師臨床研修を修了していることが法律で義務付けられています。このため、卒業生の多くは、卒業後すぐに臨床研修病院での2年間の研修を行うことを選択しています。臨床研修修了後は、希望する分野の専門医資格の取得や、研究・大学院進学など、それぞれのキャリア・プランに応じて進路を決めていきます。

### 医師国家試験受験資格

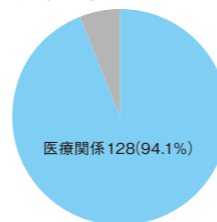
将来は、①主に患者さんの診療に携わる臨床医、②医学研究を行う研究医、③厚生労働省や保健所などで医療行政に携わる医師、④医学教育に携わる医師などとして社会で活躍することができます。



### 医学部医学科

卒業生数 136 (2020年度)単位:人

その他8(5.9%)



### 新卒者の医師国家試験受験者数と合格者数推移

	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
2021	136	124	91.2
2020	118	113	95.8
2019	107	102	95.3
2018	124	113	91.1
2017	120	113	94.2
2016	105	98	93.3

### ■主な就職先 (2020年度)

【群馬県】群馬大学医学部附属病院、前橋赤十字病院、国立病院機構高崎総合医療センター、公立藤岡総合病院、群馬中央病院、伊勢崎市民病院、SUBARU健康保険組合太田記念病院、活生会前橋病院、利根中央病院、公立館林厚生病院、桐生厚生総合病院、国立病院機構渋川医療センター、日高病院、公立藤岡総合病院、公立富岡総合病院 等  
【栃木県】独協医科大学病院  
【東京都】東京大学医学部附属病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、都立駒込病院、順天堂大学医学部附属練馬病院、順天堂大学医学部浦安病院、東京女子医科大学病院、日本赤十字社医療センター、東京都立墨東病院、東京品川病院、関東中央病院、国立国際医療研究センター病院 等  
【埼玉県】自治医科大学附属さいたま医療センター、さいたま赤十字病院、埼玉医科大学総合医療センター、国立病院機構埼玉病院、春日部市立医療センター 等  
【千葉県】千葉大学医学部附属病院、東京歯科大学市川総合病院、国立病院機構千葉医療センター、千葉市立海浜病院 等  
【神奈川県】横浜市立大学附属病院、医療法人五つ星名記念病院、横浜栄共済病院、横浜市立市民病院、国立病院機構横浜医療センター、横浜南共済病院 等





昭和  
キャンパス  
Showa Campus

# 医学部 保健学科

School of Medicine,  
Faculty of Health  
Science

取得できる  
国家試験受験資格など

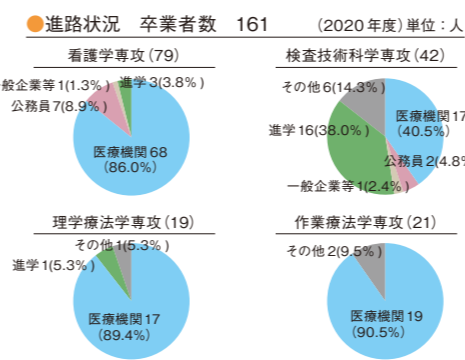
看護学専攻	看護師 ■保健師コース(定員40名) ■助産師コース(定員8名)
検査技術科学専攻	臨床検査技師 ■細胞検査士養成コース(定員5名程度)*
理学療法学専攻	理学療法士
作業療法学専攻	作業療法士

\*日本臨床細胞学会の認定する専門資格

国際的保健学研究拠点 チーム医療教育  
高度専門医療人養成 地域包括ケアの推進

保健学科では、①高度化・専門化する保健医療を担う人材、②地域完結型医療教育・研究を支える人材、③超少子高齢社会や国際社会で活躍する人材の養成、④チーム医療教育に力を入れています。看護学専攻では看護師、保健師、助産師を、検査技術科学専攻では、臨床検査技師、細胞検査士を、理学療法学専攻では理学療法士を、作業療法学専攻では作業療法士を養成しています。どの専攻でも高い国家試験合格者を誇っています。また、卒業後は大学院への進学を奨励しています。

## 医学部保健学科



(全国新卒者合格率比較)

専攻	国家試験種別	2021年 国家試験		2020年 国家試験		2019年 国家試験	
		群大合格率	全国合格率	群大合格率	全国合格率	群大合格率	全国合格率
看護学	看護師	98.7	95.4	94.7	98.6	94.7	94.7
	保健師	97.5	97.4	100.0	96.3	97.5	88.1
	助産師	100.0	99.7	100.0	99.5	100.0	99.9
検査技術科学	臨床検査技師	90.2	91.6	92.5	83.1	97.2	86.5
	理学療法士	94.7	86.4	100.0	93.2	100.0	92.8
作業療法学	作業療法士	100.0	88.8	95.5	94.2	94.4	80.0

### ■主な就職先 (2020年度)

群馬大学医学部附属病院、前橋赤十字病院、医療法人社団愛友会上尾中央総合病院、信州大学医学部附属病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、北海道庁、自治医科大学附属病院、東京医科大学病院、東京大学医学部附属病院、東北大学病院、群馬県、医療法人社団美心会黒沢病院、公益財団法人群馬県健康づくり財団、伊勢崎市民病院、医療生協さいたま生活協同組合埼玉協同病院、医療法人社団福音会白岡中央総合病院、株式会社EP総合、公立藤岡総合病院、高橋産婦人科、国立医療機構東海北陸グループ金沢医療センター、医療法人高徳会上牧温泉病院、IMSグループ明理会中央総合病院、医療法人社団白美会新潟西蒲メディカルセンター病院、医療法人財団明理会イムス明理会仙台総合病院、医療法人社団苑田会苑田第一病院、医療法人社団日高会日高病院、医療法人全心会伊勢原友病院、医療法人明倫会宮地病院、本山リハビリテーション病院、一般社団法人巨樹の会新上三川病院、公益財団法人群馬県医師会群馬リハビリテーション病院、社会福祉法人聖隷福祉事業団、公益財団法人老年病研究所附属病院、医療法人菊栄会渋川中央病院、ミサトピア小倉病院、東京湾岸リハビリテーション病院、公益財団法人脳血管研究所美原記念病院、群馬中央医療生活協同組合前橋協立病院、諏訪赤十字病院、群馬中央医療生活協同組合、公立藤岡総合病院





# Interview

## 作業療法士の意義を 地元に戻って表現したい

### 保健学科の看板「チームワーク 実習」に期待しています

親が医療関係者だったこともあって、子どものころから医療の道に進むことを考えていました。大学の下調べをしているときに印象的だったのは、「群馬大学のチーム

医療教育」です。WHO協力センターからの指定を受けるカリキュラムで、内容がおもしろそうで興味深いうえに、他の専攻と協力して学ぶ楽しそうな雰囲気にも惹きつけられました。保健学科では3年次に「チームワーク実習」があり、看護・検査・理学・作業の4専攻が協力し合い、医療現場での実践的な連携を学びます。次年度(2021年度)からこの実習に参加する私も、他の専門領域の人の役割を知って、深いコミュニケーションを図りながら視野の広い医療を学べると期待しています。

作業療法は、20人程度の少人数で行われるため手厚いフォローのもとで学ぶことができます。先生との距離感も近く、気軽に質問しやすい環境です。仲間はみなさん意識が高く、夜まで図書館で勉強しているとみんなも勉強していて、なんだか勇気づけられることもあります。また、キャンパスは大学附属病院と同一敷地内にあり、アカデミックな雰囲気が満ちている点も気に入っています。

生活面などを含めた支援として、医学部には一人ひとりの学生にチューター(指導教員)が付く制度があります。学業だけでなく、アルバイトなど私生活のことまで相談できます。この制度は、私が不安なく学生生活を送る大きな助けになっています。

早瀬 華さん Hayase Hana

医学部 保健学科 作業療法専攻 2年  
(富山県立富山中部高等学校出身)

### 大学寮での生活は、刺激と楽しみに満ちている

大学寮に入っていますが、寮生活は県外出身の私にとって、とても良い環境です。スポーツ大会、餅つき大会、徹夜討論会などのイベントが催され、刺激的で楽しい思い出になっています。授業を受けているだけでは接点をもたないであろう先輩や後輩との交流もあります。寮生間の仲の良さは、同じ屋根の下に住んでいるからこそなのだと思えます。

今年(2020年)はコロナ禍のなかで、学生同士で患者役をやる実習さえもままならない、制限のあった一年でした。それでも「人々の健康と社会福祉の向上に役立てるような人間になりたい」と頑張ってきました。卒業後は地元に戻って、臨床の道に進みたいと思っています。地元には作業療法学科を設ける大学がありません。「群馬大学で学んだ専門知識で貢献できる余地は大きいのではないか」と考えています。将来的には「思いやりをもって一人ひとりの患者さんを理解し、幸せにつながるリハビリに取り組みたい」「心の弱っている方のケアまで気配りができる作業療法士になりたい」。そんなことを考えながら勉強に向かっています。



※学年は取材時のものです。



# Interview

### 楽しく充実した日々「あっという間の6年間」

荒牧キャンパスも昭和キャンパスも落ち着いていて、今でも春に桜並木の下を歩くと気持ちが晴れやかになります。この環境が勉強に集中する助けになっていたと思います。ふり返れば「楽しく過ごしたあっという間の6年間だった」というのが学生生活の印象です。

地元の高校から進学しましたが、群馬大学の認知度や評判は高く、高水準の医学を学べると考えての選択でした。卒業後は、誰でも十分な医療を受けられるような地域医療に貢献したいと考えていました。

医学部は「勉強に追われる日々なんですよ?」と言われるのですが、自分の学生時代の生活は意外と余裕もあって、メリハリのある時間を過ごしていました。部活は医学部生中心のビッグバンドジャズのサークルで、週3回ほどの練習をこなしていました。ピアノを習った時期もありましたし、アルバイトでは家庭教師や塾講師、子ども向けワークショップのお手伝いなどを経験して、社会との接点ももつことができました。

### あなたの専門領域がきっと見つかるはず

現在は大学附属病院の内分泌糖尿病内科に所属していますが、きっかけは学部生の時に基礎医学の研究を始めることができるMD-PhDコースを履修したことです。ここで生体調節研究所の代謝シグナル研究展開センターで代謝シグナル解析分野の研究に参加しました。群馬

大学は甲状腺に関連する内分泌や代謝についての研究がもともと盛んで、先端の研究に触れることができました。

その後研修医としての経験を積み、学生時代の研究から継続性のある糖尿病関係の内分泌の臨床と研究に携わっていますが、やりがいをもって業務に取り組んでいます。

群馬大学の良さは、先端医療に関わる専門の先生から教える機会が多く、臨床だけでなく早い時期に基礎研究への参加が可能なMD-PhDコースなどが設けられていることがあります。ほかにも個性的な先生も多く、好奇心を刺激してくれる楽しい授業が多いと思います。

入学を目指されるみなさんの中には、自分が進む専門分野を決めていない方も多いかもかもしれません。私も入学当時には明確な専門分野への目的意識があったわけではありません。群馬大学は先生方や医療・研究設備のレベルも高く、そのなかで学ぶことで、きっとみなさんが打ち込める専門領域が見つけれられると思います。卒業後には大学の紹介で全国の他大学で研究を深く探求することも可能です。臨床にも基礎研究にも優れた環境が整った大学です。

平賀 春菜さん Hiraga Haruna

群馬大学医学部附属病院内分泌糖尿病内科勤務  
医学部医学科 2014年度卒業  
(群馬県立高崎女子高等学校出身)



## 高いレベルの臨床 & 基礎研究が身近にある



# 施設もこんなに充実!

FACILITIES

01

日本をリードする  
内分泌・代謝学研究的拠点

## 生体調節研究所

### 生体調節研究所とは?

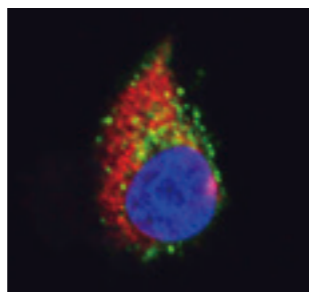
生体調節研究所は1994年に、前身である内分泌研究所(1963年に設置)が改組され、誕生しました。内分泌研究所が開設された当時は、群馬県内において海藻の摂取不足による甲状腺疾患の方が多かったため、甲状腺ホルモンの異常に起因する疾患の研究を行っていました。ホルモンとは甲状腺や膵臓などの特定の器官で作られ、体内を循環して血糖値や代謝などさまざまな生理現象を調節する生理活性物質のことです。その後、内分泌ホルモンやサイトカインなどの生理活性物質の作用や代謝の仕組みをより広い観点から理解するために、現在の生体調節研究所へと生まれ変わりました。改組後は、近年社会問題化している糖尿病、脂質異常症、肥満症、がんなどといった生活習慣病が内分泌・代謝系の異常により発症することから、これらの病因や病態の解明を中心に研究に取り組んでいます。



### 生体調節研究所では何を研究しているのか?

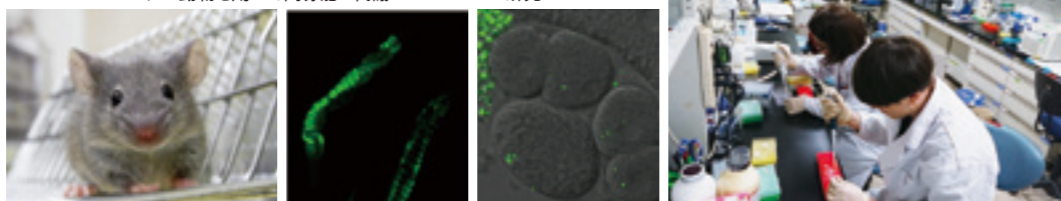
生体調節研究所では、膵臓で作られ血糖値の調節に働くインスリンやグルカゴン等といった内分泌ホルモンの研究に加え、最近注目を浴びつつある脂肪細胞の研究も行っています。また、最先端のゲノム編集技術を駆使した新たな代謝制御法やエピゲノム改変法等の開発も行っています。さらに、さまざまなモデル生物を用いて生体恒常性を維持する普遍的な分子メカニズムの解明にも取り組んでいます。最近では、「食事と肥満」、「肥満と腸内細菌」、そして「iPS細胞等を用いたヒト膵臓再生」などの最先端研究も開始しています。

<https://www.imcr.gunma-u.ac.jp/>



膵β細胞内のインスリン顆粒

モデル動物を用いた内分泌・代謝メカニズムの研究



FACILITIES

02

安全・納得・信頼の医療を提供し、次代を担う人間性豊かな医療人を育成する

## 医学部附属病院



外来ロビーの様子

<https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>



医学部附属病院は、「大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る」という理念の基に、大学病院の役割である先進的な医療の実践・開発・教育を推進し、皆さんが安全で健康な生活がおくれることを目的とします。診療については、群馬県で唯一の特定機能病院として地域医療に貢献するとともに、一般医療機関では行い難い高度医療を提供する医療機関として活動し、研究については、先進医療の開発を中心とした臨床研究を行い、教育については、医学部等の要請による臨床実習および卒業後の初期教育を主体としています。

病院には、外来診療棟をはじめ、各種の診療棟・病棟、アメニティモール等が整備されています。このほか、院内では、患者さんのために音楽コンサートの開催や七夕飾りの展示等を随時行っています。また、本学の卒業生でもある星野富弘氏の作品を、アメニティスペース尾瀬に常設展示しており、患者さんをはじめご家族や教職員の心を和ませています。

FACILITIES

03

日本初の大学併設型

## 重粒子線医学センター

重粒子線医学センターは、重粒子線(炭素イオン)を用いたがん治療施設です。重粒子線治療は、重粒子を光の70%のスピードに加速して照射し、体の深部のがんに強いダメージを与え、メスを使うことなく痛みを伴わずに、体内のがんを治療できます。

本学の治療装置は、群馬県との共同事業として建設に着手しました。日本で初めて大学病院に併設された施設として、2010年に治療を開始し、海外からも患者さんを受け入れています。

県内外の医療機関と連携して、高度で統合的ながん医療体制を構築するとともに、欧米やアジアの医療機関と活発に交流し、先進的重粒子線治療の国際拠点として、人材育成や共同研究をおこなっています。

学生の臨床実習にも活用され、年に一度の施設見学会では、多くの市民にご参加いただいています。

<https://heavy-ion.showa.gunma-u.ac.jp/>





# 桐生 Kiryu Campus

## キャンパス

群馬県桐生市天神町 1-5-1

理工学部の学生が2年次から学ぶキャンパス。



① 体育館



③ 総合情報メディアセンター  
(理工学図書館)



② 総合研究棟



④ 桐園 (喫茶)



⑤ 正門



⑥ 工学部会館 (売店・学生食堂)



⑧ しだれ桜  
(キャンパスのシンボル のひとつ)



⑦ 同窓記念会館  
(理工学部の前身:旧桐生高等染織学校舎の一部。登録有形文化財。)



- 電車**
- JR両毛線にて桐生駅下車、北方へ約2.5km
  - 東武桐生線にて新桐生駅下車、北方へ約4.1km
- バス**
- JR両毛線 桐生駅 北口乗り場(おりひめバス)
  - 中央幹線(群大系統)・梅田線 「群馬大学桐生正門前」下車(所要時間約7分)
  - 菱線「群馬大学桐生東門前」下車(所要時間約7分~20分 ※乗車する曜日・系統によって異なります)
  - 東武 新桐生駅乗り場(おりひめバス)
  - 中央幹線(群大系統)「群馬大学桐生正門前」下車(所要時間約20分)

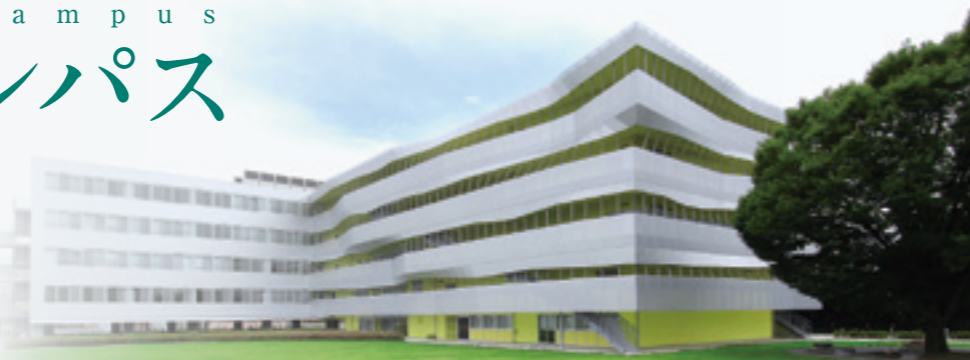


# 太田 Ota Campus

## キャンパス

群馬県太田市本町 29-1

太田市にも理工学部のキャンパスがあり、産学連携とリカレント教育の拠点として研究等が行われています。



- 東武鉄道太田駅北口下車、徒歩約10分(市立太田小学校となり)
- 北関東自動車道 太田桐生ICから約10分



# 理工学部

新生

- 分野を超えた幅広い学びで社会に求められる人材へ
- 企業と連携した問題解決型授業で実践力が身につく
- メンター制により教員が履修をサポート

群馬大学理工学部は創立100周年を超え、今まで多くの有名な技術者・研究者を輩出してきました。持続可能な社会や Society5.0を支える科学技術を幅広く学ぶことを通じて、今後大きく変わっていく産業構造に対応し、社会で活躍できる実践力をもった人材の育成を目指しています。

理工学部は今まで高い進学率を誇っている他、就職率も高く、多くの学生が一部上場企業へ就職しています。また、在学生の4人に1人は女子学生という女子学生の比率が高いのも特徴で、卒業後は女性研究者・技術者として活躍しています。



## 類・プログラム紹介

入試は類別で行います。1年次は全員で理学系基礎科目等を、2年次は類別で類基礎科目を学びます。その後、2年次後期～3年次に学びたいプログラムを選択します。

### 物質・環境類

持続可能な社会を支えるための基礎となる化学・生物・物理を融合した科学技術について、幅広く学べます。

#### 応用化学プログラム

物質科学と生命科学から持続可能な社会の基盤を生み出す

物質の合成・構造・性質に関する分野や遺伝子、生命科学分野について学びます。

- 卒業後の進路
- ▷大学院進学 ▷化学系企業 ▷食品・化粧品系企業 ▷医療・製薬系企業 ▷材料系企業

#### 食品工学プログラム

食品生産工学・食品科学のプロフェッショナルを目指す

食品機能を科学的に理解するとともに、食品の創出に関わる生産工学を学びます。

- 卒業後の進路
- ▷大学院進学 ▷食品系企業 ▷エンジニアリング系企業 ▷材料系企業 ▷化学・化粧品系企業

#### 材料科学プログラム

あらゆる材料を網羅した総合型材料開発を目指す

物質科学ならびに金属工学を基軸として、材料開発に関する基礎から最先端の知識と技術を体系的に幅広く学びます。

- 卒業後の進路
- ▷大学院進学 ▷化学・材料系企業 ▷電機・電子系企業 ▷自動車系企業 ▷機械・精密機器系企業 ▷医療機器系企業

#### 化学システム工学プログラム

スマート社会を実現するデバイス、装置、プロセスの開発を目指す

物質・エネルギーを無駄なく、クリーンに利用・生産するための知識と技術を学びます。

- 卒業後の進路
- ▷大学院進学 ▷化学系企業 ▷エンジニアリング系企業 ▷エネルギー関連企業 ▷材料系企業

#### 土木環境プログラム\*

自然環境との調和を図り、国民の安全を守る

自然災害からの防御や社会的・経済的基盤の計画・整備・維持管理のための技術を学びます。

- 卒業後の進路
- ▷大学院進学 ▷公務員（土木職）▷建設・防災・環境系企業 ▷社会インフラ企業（鉄道・道路・ライフライン等）

\*土木環境プログラムと機械プログラムは JABEE（日本技術者教育認定機構）認定のプログラムです。

### 電子・機械類

Society5.0を支えるIoTやロボットなど物理・数学を基礎とした科学技術について、幅広く学べます。

#### 機械プログラム\*

エネルギー・材料加工などの幅広い技術を身につけ、世界に通用する技術者の育成を目指す

エネルギー変換技術や材料加工技術、機械・材料・熱・流体力学技術について学びます。

- 卒業後の進路
- ▷大学院進学 ▷自動車・輸送機器・一般機械の製造企業 ▷精密・光学・情報・医療機器製造企業

#### 知能制御プログラム

超スマート社会を創造する

超スマート社会を創造する知能化メカトロ制御技術、IoTによるエネルギー制御技術について学びます。

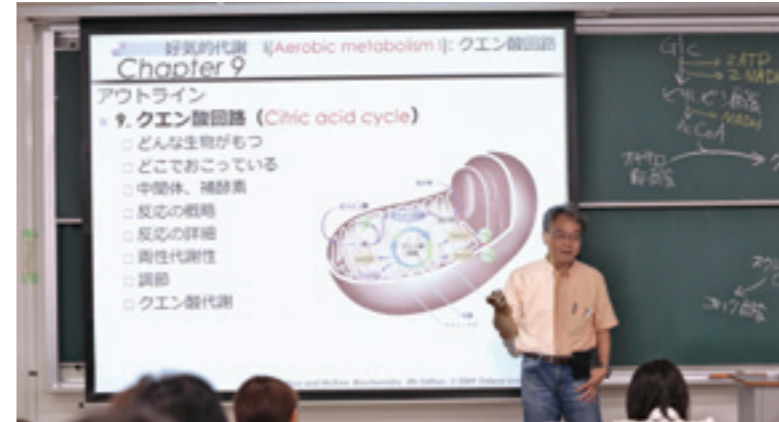
- 卒業後の進路
- ▷大学院進学 ▷精密機器・精密加工系産業 ▷メカトロ・機電系企業 ▷医療機器関連企業 ▷自動車・輸送機器・一般機械製造企業

#### 電子情報通信プログラム

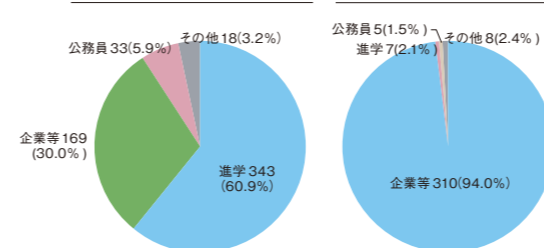
電気電子工学のプロフェッショナルを目指す

最先端のデバイス、量子ビーム技術、通信技術、IoTシステムなどの、モノづくりにかわる情報技術やAI技術について学びます。

- 卒業後の進路
- ▷大学院進学 ▷電子部品・電気機器製造業 ▷情報通信システム ▷自動車・一般機械製造企業



学部卒業生数 563 単位：人  
大学院博士前期課程 修了者数 330 単位：人



### 理工学部

#### 主な就職先（直近2年間）

【物質・環境類】  
アキレス（株）、花王（株）、関東化学（株）、キヤノン（株）、サンデンホールディングス（株）、サンヨー食品（株）、JFEスチール（株）、JR東日本コンサルタンツ（株）、清水建設（株）、（株）SUBARU、太陽誘電（株）、東洋アルミニウム（株）、日清紡（株）、パナソニック（株）、東日本旅客鉄道（株）、（株）日立製作所、富士通ビー・エス・シー、（株）ミツバ、三菱ケミカル（株）、群馬県庁、国土交通省関東地方整備局、量子科学技術研究開発機構

【電子・機械類】  
AGC（株）、NEC（株）、（株）NTTドコモ、花王（株）、キヤノン（株）、サンデンホールディングス（株）、（株）SUBARU、セイコーエプソン（株）、ソニー（株）、太陽誘電（株）、東京電力ホールディングス（株）、（株）東芝、凸版印刷（株）、日産自動車（株）、日本精工（株）、東日本旅客鉄道（株）、（株）日立産業制御ソリューションズ、富士通（株）、本田技研工業（株）、（株）ミツバ、三菱電機（株）、経済産業省（技術職）

※企業は50首順に掲載しています。  
※現学科体制の進路データ・就職先を類に換算しています。



# Interview



## 研究に集中するならこんな素敵な環境はない!

私が受験時に見た大学案内に「ケンブリッジ大学だって田舎だろ!」って書いてあった記憶があります。「確かに」ですが、都会と比べて誘惑の少ないこの環境が、個人的にはとても気に入っています。自然が豊かで、近郊には温泉があり、雄大な利根川が流れています。その割には東京へも2時間ほどでアクセスできます。街はコンパクトで生活しやすいうえ、家賃は安いと感じます。群馬大学生は桐生の街に溶け込んでいて、住民の方々も群馬大学生に親切な人が多くて、学外でも活動しやすかったです。そして落ち着いた環境は、本気で研究に取り組みたい人には最適です。言葉にすれば、「健全で堅実な大学」といえると思います。

カリキュラムにも魅力があります。生物と化学を1:1で両方ガッツリと勉強できて最高でした。先生方に関しては、化学・生物化学科の授業はオーソドックスで奇をてらった試験は少ないと思います。面倒見が良い先生もいらっやあって、質問にいくと2時間半くらい議論に付き合ってください先生もいらっやいました。

## チームで挑んだ 合成生物学の国際大会

2019年に、iGEMという世界の大学から350の学生チームが集まって競う、

### 北みずきさん Kita Mizuki

理工学部 総合理工学科 化学・生物専門教育プログラム 4年  
(日本大学高等学校・神奈川県出身)

# 未熟だからこそ一歩を 踏み出して挑戦したい!

合成生物学(遺伝子組換え)の世界大会に、チームを一から立ち上げて参加しました。得意分野をもった学部をまたいだ仲間が集うチームは刺激いっぱい、結果的には銅メダルも獲得でき、学生として最高の経験ができました。大学へのプレゼンやクラウドファンディングの運営など、実験以外のタスクにも必死で取り組む必要がありました。この経験を通して実感したのは「意欲は行動に変えて初めて意味をもつ。全力で取り組むときというのは、普通ならありえないような幸運がたくさん起こり、想像以上に成長できる」ということ。みなさんも結果を恐れずに、目標を定めての研究に挑んで欲しいです。

## 発生物学的に作られる人工臓器を研究したい

研究室ではフッ素化合物の有機合成化学、自主活動のiGEMでは大腸菌を用いた遺伝子組換え実験と、異分野の研究を両方経験できました。その成果を基に他大学の大学院に進みます。そこでは大学1年次からの望みである、iPS細胞などを用いた臓器の発生機序を解明する研究に取り組む予定です。

みなさんには「自分が本当に望んでいることは何かを問い続けてほしい」と思います。とても些細なことが、自分の人生を大きく変えることが本当にあります。

私はこれからもiGEMの後輩を全力で応援し、温かい母校である群馬大学とも、何らかの形で関わり続けていきたいです。

※学年は取材時のものです。

# Interview

## 世界的な先生や熱気ある仲間 に囲まれての研究生活があった

### 世紀の大発見を夢見て研究の日々

群馬大学の魅力の1つは、学生一人に対する先生の数が多く、個人への相談に乗ってくれる熱心な先生が多いことです。しかも先生方の先端研究にリアルタイムで触れられる。これらの環境は学問を探究する身にとって大きなアドバンテージで、私自身を大きく成長させてくれました。

キャンパスのある桐生市についてもアピールしたいです。この街には群馬大学の学生に優しい人がたくさんいます。学生向けの食堂やオシャレなカフェ、個性的なアトリエなども多くて面白いエリアです。遊びに勉強に充実した学生生活を送るにはとてもいい環境です。

私が学生時代に力を入れていたことは、白色LEDなどへの応用が期待される新しい蛍光材料の研究でした。持続可能な社会の実現に貢献できる可能性がある分野で、世紀の大発見を夢見て熱中して研究に取り組みました。当時、なによりも恵まれていたと思うのは、世界的に認められる業績を残している先生から直接指導を受けられたこと、そして研究に対して情熱的な研究室のメンバーとの出会いがあったことです。そのような優秀な人たちに後押しされ成果を手でできたと思います。周囲の協力を得て、在学中(博士前期課程も含む)には米国電気化学会やElsevier社などの世界をリードする学会や出版社の学術論文誌から、筆頭著者として8報の原著論文を刊行することができました。また、多くの学会での発表の機会(計13件)も得られました。

### 研究で培った手法が、現在の仕事の礎になっている

研究生生活のなかで、「理解できないことがあったときに、調査、追究、実証を通じて、自分なりにアウトプットする」というトレーニングを十二分に重ねてきました。それが現在の仕事に取り組むうえでの基礎になっています。現代のようにテクノロジーの進化スピードが早い世界では、このような思考力と行動力が求められていると思います。

これからは研究・開発者が、それぞれの能力を持ち寄ってプロジェクト単位で離合集散するような働き方が増えてくるのではないかと予想しています。そうした時代になっても活躍できるような力を身につけていきたいです。

実社会では「目標の大学に入れば勝者」とはなりません。少しでも面白いと思うことは何でもトライしてみて、やりたいことや自分なりに世の中に貢献できそうなことを見つけることが重要だと感じています。努力をした経験は、きっとどこかで報われます。これまでたくさんの方に多くのものを与えてもらったので、いつの日か世の中に還元したいと思っています。

### 大西 勇也さん Onishi Yuya

ルネサスエレクトロニクス株式会社勤務  
理工学部 電子情報理工学科・電気電子コース  
2015年度卒業  
理工学専攻 電子情報・数理教育プログラム  
2017年修了  
(群馬県立桐生高等学校出身)







グローバル フロントティア リーダー

# Global Frontier Leader 育成プログラム

## GFLって?

自国および他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において主体的に活動できる人(グローバルフロンティアリーダー(GFL))を育成するプログラムです。



### グローバル交流セミナー・サマーセミナー

外国人留学生や大学院生による講演会や各種ガイダンスを行います!



### 外国人教員による特別プログラム

グループワークやプレゼンテーションを主とした実践的な英語講義が用意されています!



### 特別講演会

企業等のトップリーダーや先端研究に携わる研究者を学生自ら招聘し講演会を企画開催します!



### 海外留学

GFL 企画の留学プログラムも用意しています! GFL 生は自身で選択して、学内外の留学プログラムや海外研修に参加しています。



詳しくはGFLホームページを参照ください! ▶ <https://gfl.jimu.gunma-u.ac.jp/>



## どうすればGFL生になれるの?

### I GFL 特別枠入試を受けて入る!

学校推薦型選抜(11月実施)においてGFL特別枠入試を実施している学部があります。

※詳細は、本学ホームページの「入試案内」を参照してください。

入学時からGFL活動に参加でき、GFL特別枠合格者限定の教育プログラムを実施しています。

### II 入学後に応募・選考を受けて入る!

● 募集対象 1年生



## 世界をリードする皆さんへ

医学部医学科  
手代木 秀太 さん (GFL2016年度生)

東京学芸大学附属高等学校 (東京都) 出身

GFLでは各学部から選抜された、群馬大学内で最も優秀で将来へひたむきな情熱を持った少数精鋭の学友と切磋琢磨しながら学び合うことができます。GFL 生用にデザインされた海外研修や、先端的研究を行っている留学生との交流、分野を横断した講演会・企画、早期研究室配属などさまざまなプログラムを通じて国際的視野を涵養し、自らの専門を多角的な視野から深めることができます。

GFLでの経験は国際社会におけるリーダーとして活躍したい貴方にチャンスを与えてくれることでしょう。総合大学たる群馬大学の強みを活かし、自分の学科を超越した学びの登竜門としてGFLは最適な枠組みだと確信しています。また同期のみならず先生方や優秀な先輩方、後輩とのコネクションができることもGFLの大きな魅力です。

## 日本医療の国際化に向けて

医学部保健学科検査技術科学専攻  
兼平 裕貴 さん (GFL2018年度生)

岩手県立盛岡第三高等学校出身

私は将来、日本の医療現場の国際化に貢献できる臨床検査技師になりたいと思っています。具体的には、日本に海外の医療従事者を招く際の仲介など、海外の医療機関との連携をより進めていくために役に立ちたいと考えています。そして、日本と海外の医療機関における懸け橋のような存在になりたいです。

GFLでは英語力向上のため Intensive English や GFL 生限定の特別講義、それ以外にも企画から開催まで全て学生が担当する外部講師による講演会など、自身の目標へと近づいていくためのさまざまな活動を経験することができます。また、医学部のみならず、全学部の高い志を持った学生が集まるので、自然と競争意識が生まれ活動することができます。



## GFLの魅力

社会情報学部社会情報学科  
嶋田 真衣 さん (GFL2018年度生)

群馬県立高崎女子高等学校出身

私がGFLに入って良かったと感じることは、GFL独自のイベントに参加することによって、いろいろな人との繋がりを持てることです。普通に大学生活を送っているだけでは、なかなか交友関係を広げることは難しいですが、GFLには学年・学部関係なく、たくさんの人たちと関わる機会があります。

私は、一年生の春休みにオーストラリア短期留学プログラムに参加したのですが、その留学を通して、同学年のGFL生との仲がより一層深まり、今ではGFLの活動以外でも集まるようになりました。また、先輩方とお話しをする機会もあり、本当に刺激を受けることばかりです。

少しでも興味のある方は、GFLに入って、充実した大学生活を送りましょう!!

ご不明点等ありましたら、どうぞ遠慮なくお問い合わせください

✉ [gfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp](mailto:gfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp) ☎ 027-220-7132





# 海外留学

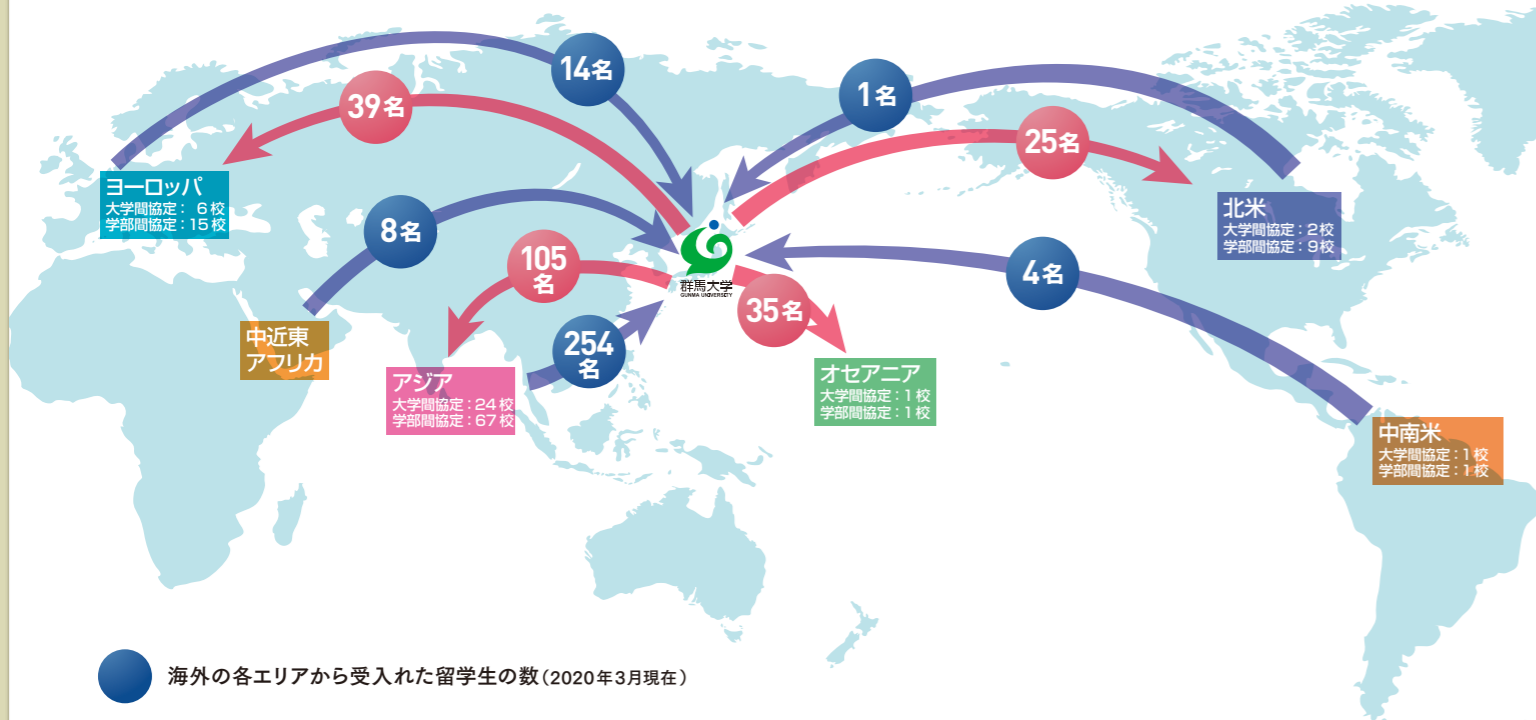
## 海外研修プログラム

群馬大学では、29カ国1地域127大学等（2021年1月5日現在）と協定を結び、交換留学生として半年又は1年、学生を派遣しています。また、夏休みや春休みを利用して、本学および協定校が企画する1～4週間程度の短期研修や語学研修に、多くの学生が参加しています（2019年度における、海外への留学者数は204名、海外からの留学者数は281名）。

このような交換留学や短期研修、語学研修などへの参加者は、日本学生支援機構の奨学金や群馬大学独自の奨励金制度を利用できます。また、2013年度からは教養教育科目や専門科目（一部の学科）の授業として単位が認められるようになりました。

さらに、自らオリジナルの留学計画を立案する意欲的な学生は、群馬大学独自の「グローバルチャレンジプログラム」に申請することができ、採用されれば奨学金や研修など、非常に手厚いサポートを受けられます。2021年春から、日本にいながら海外の大学と交流する新たなオンライン短期研修プログラムも開始しました。

## 協定校情報 海外留学 29カ国1地域127大学等と提携



● 海外の各エリアから受入れた留学生の数（2020年3月現在）

● 海外の各エリアの協定校等に留学・研修した群大生の数 人数は2019年4月～2020年3月の延べ人数

※2019年度の人数を参考に掲載しています。



# 学生サポート

## 学生支援センター

学生の個人的な問題に対する相談（修学相談・人生相談・生活相談など）に応じるため、「学生相談窓口」が学生センターと理工学部事務室にあります。また、助言を行うための全学的な機関として、荒牧地区（昭和地区含む）に学生相談室、理工学部学生相談室分室があります。外国人留学生には、国際センターでも相談に応じています。

### ▶ 学費（2021年度入学）

※共同教育学部・情報学部・医学部・理工学部

	入学科	授業料（年額）	その他経費
共同教育学部	282,000円	535,800円	46,660円
情報学部			48,660円
医学部医学科			304,300円
医学部保健学科			94,370円
理工学部			88,560円

### ▶ 入学科・授業料免除制度

国の高等教育の修学支援制度により住民税非課税世帯およびそれに準じる世帯の学部生（外国人留学生を除く）に対して、日本学生支援機構の返還不要給付奨学生に採用された場合は、入学科・授業料が減免されます。

また、この制度の対象外となる学生（外国人留学生および大学院生等）に対しても、経済的理由によって納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合は、授業料等を減免する制度があります。なお、納入期限までに授業料の納入が困難な場合、徴収猶予や月割の分納を認める制度もあります。

### ▶ 奨学金制度

群馬大学では、日本学生支援機構の奨学金をはじめ、地方公共団体や民間奨学団体などの各種奨学金を取り扱っています。奨学金制度には、返還が必要な貸与型（無利子・有利子）と返還が不要な給付型があります。いずれの奨学金制度も学業・人物が共に優秀であって、経済的に授業料等の支出が困難な学生が対象となります。



## 健康支援総合センター

健康支援総合センターは、学生の皆さんを、身体的・精神的にサポートする学内の医療機関です。「からだ」と「こころ」の健康相談、カウンセリング、健康教育、保健指導、応急処置、医療機関への紹介など、卒業するまでの健康管理をサポートしています。

「群馬大学健康支援総合センター」  
<http://kenkoushien.hess.gunma-u.ac.jp/>







# 学生サポート

## 障害学生サポートルーム

【群馬大学 障害学生サポートルーム】  
<https://syougai.hess.gunma-u.ac.jp/>



障害学生サポートルームでは、さまざまな障害のある学生が、修学上、不利な立場におかれることのないよう学習環境を調整し、一人ひとりの学生がその個性と能力を發揮できるようにサポートを行います。  
在学生からの学習や生活に関する相談、高校生等からの受験・入学後の支援に関する相談、障害などのある学生と関わる教職員の相談など幅広く対応しています。



## 学生寮



### ▶ 養心寮（荒牧キャンパスまでバス15分、昭和キャンパスまで徒歩10分）

収容人員	部屋タイプ	寄宿料 (月額)	諸経費	居室設備
男子 74室 女子 62室	個室 約9㎡	4,300円	自治会費 (年額) 4,800円 光熱水費 (月額) 6,000円	エアコン インターネット端子 TVアンテナ端子

●原則として通学に2時間以上かかることが入寮申請の要件となります。



### ▶ 啓真寮（桐生キャンパスまで徒歩15分）

収容人員	部屋タイプ	寄宿料 (月額)	諸経費	居室設備
男子 65室 女子 24室 (変動あり)	個室 (ワンルーム型) 約19㎡ 35室	25,000円	クリーニング代(入寮時) 25,000円 共益費 (月額) 1,500円 光熱水費 (月額) 6,000円程度(※)	エアコン インターネット端子 TVアンテナ端子 ミニキッチン IHコンロ ユニットバス 独立型トイレ 室内物干し
	個室 (シェア型) 約18㎡ 54室	15,000円	クリーニング代(入寮時) 15,000円 共益費 (月額) 1,500円 光熱水費 (月額) 6,000円程度(※)	エアコン インターネット端子 TVアンテナ端子 室内物干し

※個人の使用量により異なります。

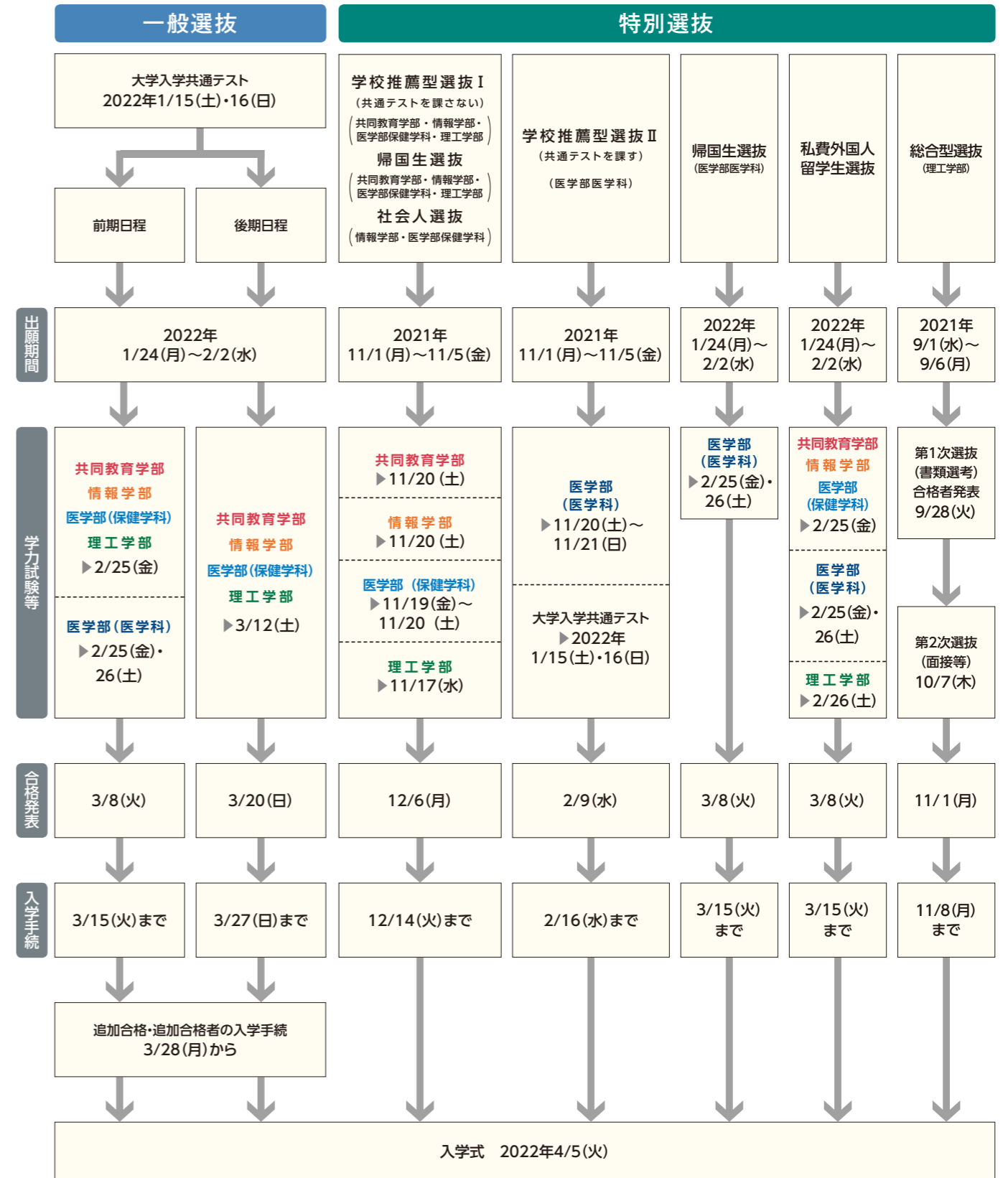
## キャリアサポート室

キャリアサポート室は、学生一人ひとりの適性にあった進路決定ができるよう就職活動の支援を行っています。具体的には、1年次より学年に応じて、キャリア計画、キャリア設計をはじめとする学習意欲の向上を図り、インターンシップにおいては、社会的に必要な能力や実践的な能力の育成、希望する企業等へのマッチングおよび申請支援、実施に関する事前説明会、実習講座およびマナー教育並びに実習後の在学生への体験報告会等を実施しています。

キャリアサポート室では、各企業からの求人票・会社案内、先輩方の就職活動報告書、就職関連図書の貸出し・閲覧などができます。また、公務員受験案内についても取り揃えています。

# 入試日程

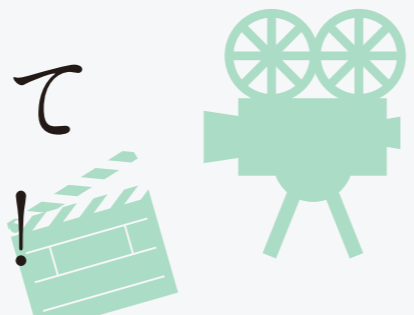
## 【入学者選抜日程の概要】



※詳細は、「学生募集要項」で必ずご確認ください。



# 全国の大学に呼びかけて オムニバス映画を制作!



**2020年に公開された『突然失礼致します!』が大きな評判になりました。**

全国 100 大学の 120 のサークル・団体(参加監督 180 人)に、実写やアニメーション、ストップモーションなどの超短編

映像を提供していただき、それを 1 本に編集したオムニバス映画です。コロナ禍の社会で、全国の映画サークルは活動自粛を余儀なくされていました。そこで SNS などを使って合同企画の制作メンバーを募りました。自分から声をかけて主体的に行動すれば、「賛同してくれる人は必ずいる」と思っていました。おかげで大きな評価をいただき、Web 上映に加え、クラウドファンディングで集まった資金を使って、全国 6 都市でのミニシアターでの公開も決まりました。

映画を貫く統一テーマは『希望』です。困難が多い時代ですが、「映画を観た一人ひとりが、何らかの行動を起こすきっかけになればいいな」という想いが込められています。

**映画部活動の魅力とは何でしょうか。**

「学生でいられる間はどんなことでもできるはずだ。何にでも挑戦・実践してみよう」というのが僕のモットーです。当部は自分が中心になって 2019 年に立ち上がった若いサークルですが、今回の映画制作のなかで実感したのは、「仲間がいるからビジョンが現実になるんだ」ということです。映画好きで、本当に有能な友との経験は貴重でした。これからもアクティブな仲間を増やしていきたいです。



映画部 MEMENTO  
熊谷 宏彰さん Kumagai Hiroaki

社会情報学部・社会情報学科 4年  
『突然失礼致します!』の総監督・製作総指揮  
(利根沼田学校組合立利根商業高等学校出身)

**Yield について教えてください。**

2020 年 3 月末に「地域と学生の懸け橋へ」をミッションに掲げて設立された学生団体です。楽しむ姿勢を大切にしながら、イノベティブな活動を行っていきたくとメンバーを募りました。群馬大学に加え他大学の学生も参加しています。

桐生市の築百年ほどの糸染め工場跡を利用して、「彩・iroha」という古民家をリノベーションした拠点を作りました。2020 年夏はかき氷専門店、冬はスープ専門店を開店させました。開店資金はメンバーで拠出しました。内装工事をはじめ、食材の仕入れ・管理、SNS の運営、メニュー開発、運営のための資金管理なども、自分たちの手で行ってきました。

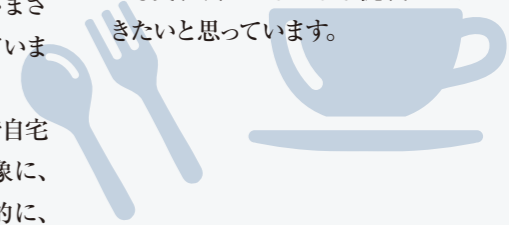
**Yield が見据える学生像とはどんなものでしょうか。**

私たちの目標は飲食店を運営することではありません。飲食店はメンバーの夢を体現しただけであり、それは私たち組織にとってはあくまで通過点でしかありません。組織としての、ミッションを全うし、目指すビジョンへ向け、これからはさまざまな実社会において、さまざまな挑戦を続けていきたいと思っています。

ほかにも 2020 年は、コロナ禍で自宅学習になっている小・中学生を対象に、学習支援とメンタルサポートを目的に、マンツーマンのオンライン授業を実施しました。現在は、一般企業のマーケティング

戦略や新規事業メンバーの一員としても活動の幅を広げています。

カフェの立ち上げ工事やメニュー開発の苦勞をメンバーと共に経験したことは、一体感が生まれる本当によい機会になりました。「学生にとって失敗なんてことはなく、すべてが学びである」ととらえ、アントレプレナー精神を持って、これからは実社会でさまざまな挑戦を重ねていきたいと思っています。



# チャレンジできる フィールドを創る!



学生団体 Yield  
伊藤 裕喜さん Ito Yuki

医学部・保健学科理学療法専攻 4年  
(群馬県立桐生高等学校出身)



※学年は取材時のものです。



# 学生広報大使の取り組み

## Student Ambassador 学生広報大使

群馬大学の在学生による広報チーム「学生広報大使」が、オープンキャンパスや進学相談会、広報誌、SNSなどで群馬大学の魅力を在学生目線でPRしています。

詳細はこちら



Twitter @Gundai\_sa



Instagram gundai\_sa



PV <https://youtu.be/Y7JaxawTk24>



## OPEN CAMPUS 2021



対象 高校生・中学生・保護者等  
会場 WEB開催

### WEBオープンキャンパス特設ページ

申込方法・実施内容(受験生応援サイト)  
<https://www.gunma-u.ac.jp/prospective/>



詳細は決まり次第、「受験生応援サイト」でお知らせします。



## Tokyo Satellite Office 東京サテライトオフィス

東京サテライトオフィス(田町駅徒歩1分)で  
**個別進学相談会**がスタート!  
オンラインでも受け付けています!

詳細は **総務課 (027-220-7154)** へ。



## 群馬の基本情報

<b>【人口】</b> 1,929,709人 (2020年6月1日現在)	<b>【面積】</b> 6,362.28km <sup>2</sup> 【年間日照時間】 2,247時間 (2017年・全国第5位)	<b>【最高気温】</b> 40.3℃(館林市・2007年) 【最低気温】 -17.2℃(碓氷村・2014年)
--	--	--



国立大学法人  
群馬大学徽章

周囲は群馬県の象徴である名勝赤城、榛名、妙義の上毛三山を浮き彫りさせて大学を囲み、群馬大学の象徴としています。



国立大学法人  
群馬大学ロゴマーク

群馬大学英頭文字「G」をモチーフに緑と青で豊かな自然環境を示し、学生の成長と活躍をイメージして、新しい未来の創造と、社会へ貢献する大学の存在感を表現しています。

## 群馬大学の歩み

HISTORY OF GUNMA UNIVERSITY

- 1873 小学校教員伝習所(現共同教育学部)
- 1915 桐生高等染織学校(現理工学部)
- 1943 前橋医学専門学校(現医学部)
- 1948 前橋医科大学
- 1949 群馬師範学校、群馬青年師範学校、前橋医科大学、桐生工業専門学校の諸学校を包括し、それぞれ学芸学部、医学部および工学部からなる群馬大学が開学  
初代学長に西成甫就任
- 1951 学芸学部附属小・中学校および幼稚園設置
- 1955 大学院医学研究科設置(現大学院医学系研究科)
- 1963 附置研究所として内分泌研究所設置(現生体調節研究所)
- 1964 大学院工学研究科設置(現大学院理工学部)
- 1966 学芸学部を教育学部に改組
- 1970 教育学部が荒牧キャンパスに移転
- 1979 教育学部に附属養護学校設置(現附属特別支援学校)
- 1981 教育学部に附属教育実践指導センター設置(現附属学校教育臨床総合センター)
- 1990 大学院教育学研究科設置
- 1993 社会情報学部設置
- 1996 医学部に保健学科設置
- 1998 大学院社会情報学研究科設置(現附属学校教育臨床総合センター)
- 1999 留学生センター設置(現国際センター)
- 2004 国立大学法人化
- 2005 総合情報メディアセンター設置  
重粒子線医学研究センター設置
- 2007 太田キャンパス発足
- 2008 教職大学院設置  
ケイ素科学国際教育研究センター設置  
社会情報学研究センター設置
- 2010 重粒子線治療開始
- 2011 大学院保健学研究科設置
- 2013 工学部を理工学部に改組  
大学院工学研究科を大学院理工学部に改組  
多職種連携教育研究研修センター(WHO協力センター)設置  
男女共同参画推進室設置
- 2014 未来先端研究機構設置
- 2015 元素科学国際教育研究センター設置
- 2016 次世代モビリティ社会実装研究センター設置
- 2017 数理データ科学教育研究センター設置  
食健康科学教育研究センター設置
- 2020 教育学部を共同教育学部に改組  
男女共同参画推進室をダイバーシティ推進センターに改組
- 2021 情報学部設置  
理工学部を「2類」に改組





国立大学法人  
**群馬大学**

パソコン・電話等で請求する

入試資料・学部案内の請求方法

大学に訪問して受領する

各資料は、「テレメール」や「モバっちょ」を利用して、パソコン、スマートフォン、自動音声応答電話等から請求できます。

群馬大学ホームページ【入試情報>資料請求】で請求方法を御確認ください。

[<https://www.gunma-u.ac.jp/>]

請求できる資料、料金(送料・手数料)、料金お支払い方法等は請求方法によって異なりますので、御注意ください。なお、群馬大学への郵送による請求は、受け付けておりません。

請求方法に関するお問合せ先  
総務部総務課 TEL 027-220-7154

来学いただいた方には、次の場所で直接お渡します。

- ①荒牧キャンパス  
学生センター(平日8:30～17:15)  
守衛所(平日17:15～8:30、土日・祝休日)  
[お問合せ]  
学務部学生受入課 TEL 027-220-7150・7151・7152
- ②昭和キャンパス  
学務課入学試験係窓口(平日8:30～17:15)  
[お問合せ]  
昭和地区事務部学務課 TEL 027-220-8909・8910
- ③桐生キャンパス  
1号館1階(平日8:30～17:15)  
守衛所(平日17:15～8:30、土日・祝休日)  
[お問合せ]  
理工学部学務係 TEL 0277-30-1037

※群馬大学は、インターネット出願を導入しているため、紙の募集要項の発行はしていません。出願される際には、本学Webサイトに掲載される募集要項を確認してください。



群馬大学公式HP



Facebook



LINE



Instagram



Twitter



YouTube

入試に関するお問合せ **群馬大学学務部 学生受入課**

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2 TEL : 027-220-7150・7151・7152 E-mail : [g-admission@jimu.gunma-u.ac.jp](mailto:g-admission@jimu.gunma-u.ac.jp)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

